

---

## 第6章 介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査

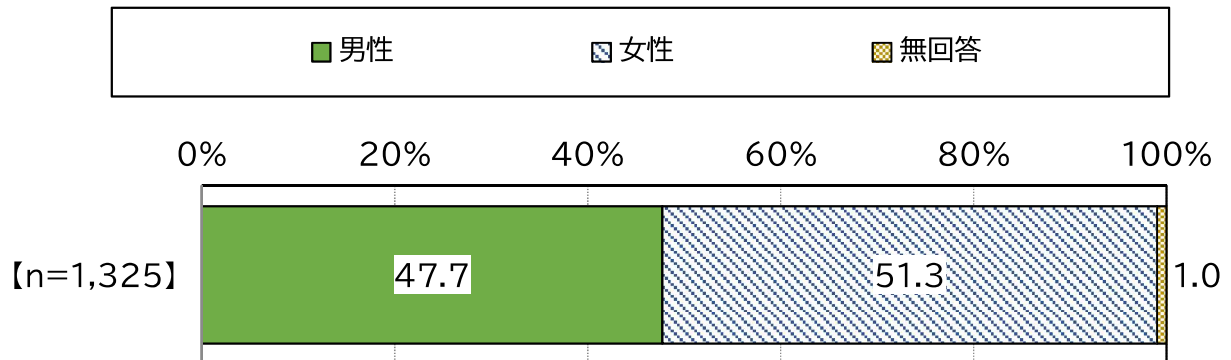
---



## 1 回答者属性

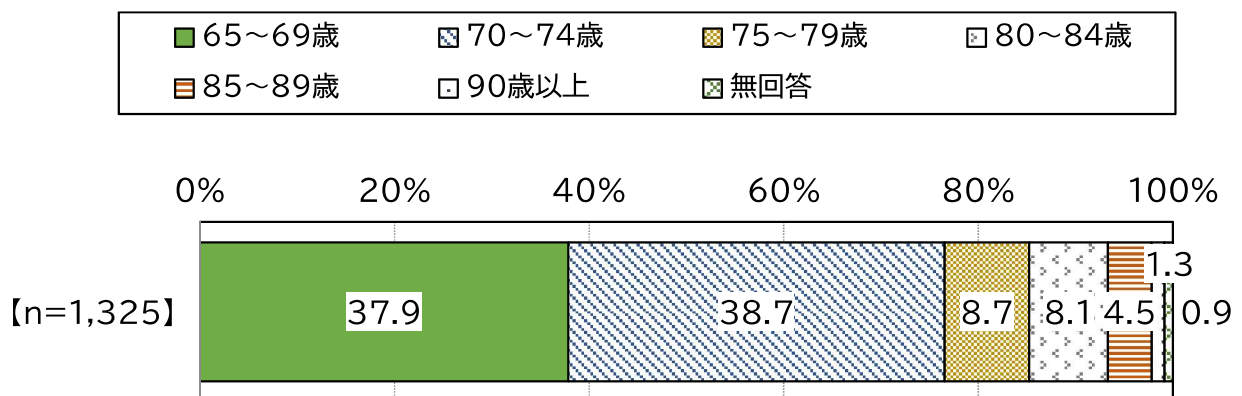
問1 あなたの性別をおたずねします。(1つに○)

「男性」が47.7%、「女性」が51.3%となっています。



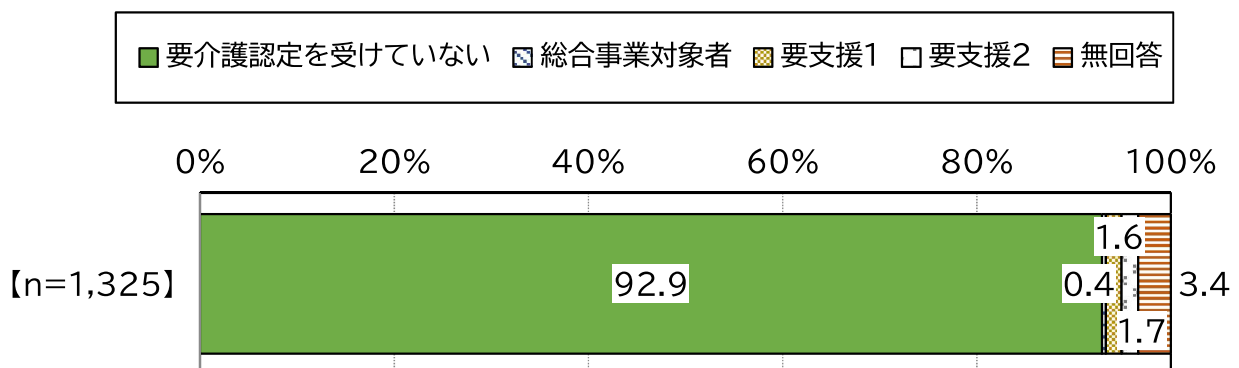
問2 あなたの令和4年11月1日現在の年齢をお答えください。

「70～74歳」が38.7%で最も高く、次いで「65～69歳」が37.9%、「75～79歳」が8.7%となっています。



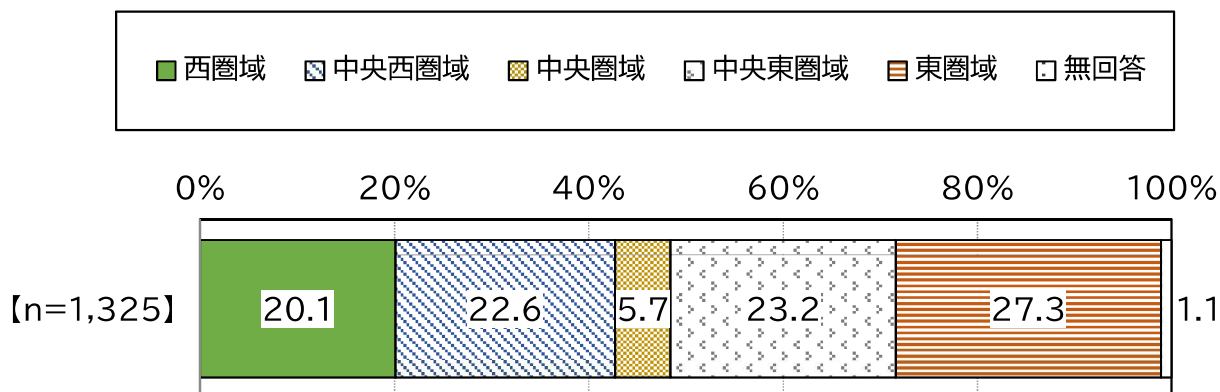
問3 あなたの要支援・要介護度をおたずねします。(1つに○)

「要介護認定を受けていない」が92.9%で最も高く、次いで「要支援2」が1.7%、「要支援1」が1.6%となっています。



問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(1つに○)

「東圏域」が27.3%で最も高く、次いで「中央東圏域」が23.2%、「中央西圏域」が22.6%となっています。

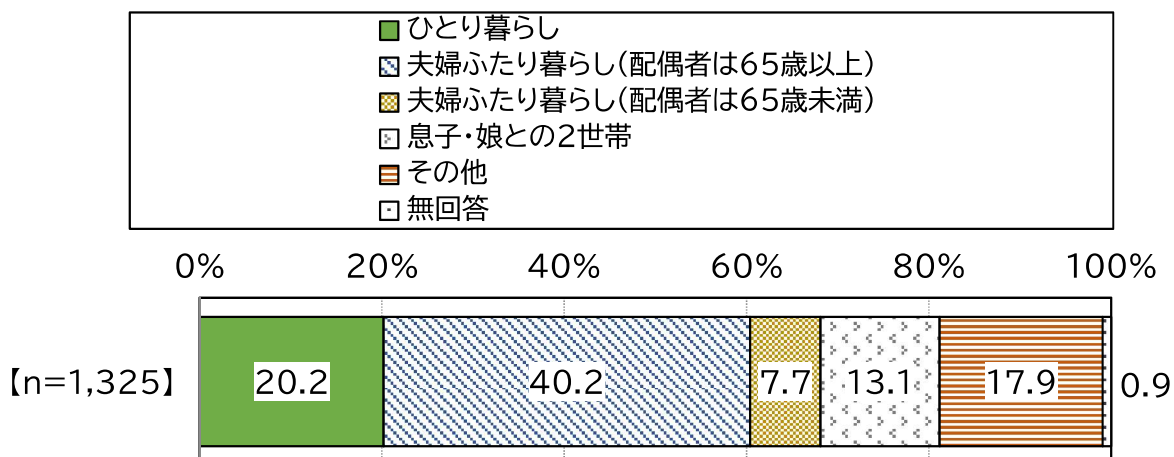


◆ 小平市の日常生活圏域

日常生活圏域	町 丁 名
西圏域	中島町、上水新町、たかの台、小川町1丁目、栄町、上水本町1丁目、津田町1丁目
中央西圏域	小川西町、小川東町1～5丁目、上水本町2～6丁目、津田町2～3丁目、学園西町
中央圏域	小川町2丁目、小川東町（西武多摩湖線より東側）、学園東町1丁目
中央東圏域	上水南町、喜平町、学園東町（1丁目を除く）、仲町、美園町、大沼町
東圏域	回田町、御幸町、鈴木町、天神町、花小金井南町、花小金井

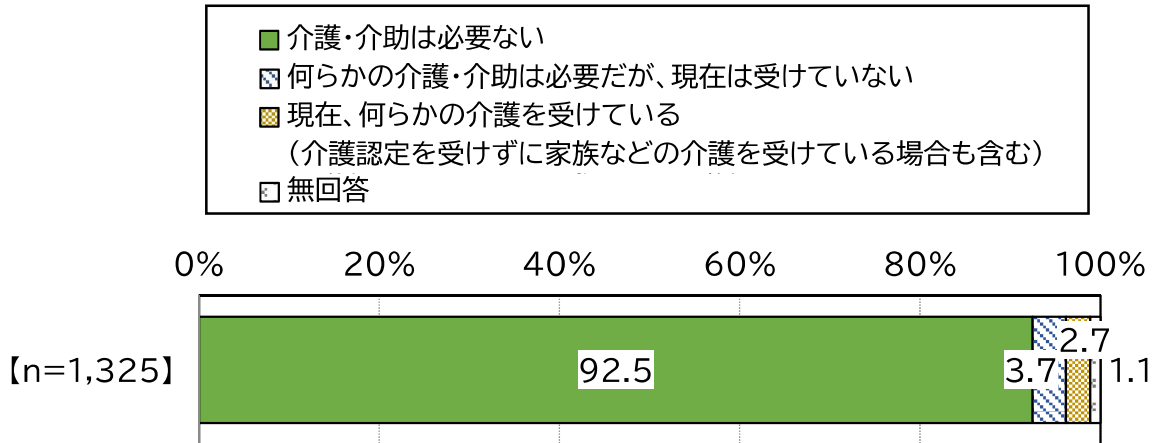
問5 あなたが現在一緒に暮らしている家族の構成を教えてください。(1つに○)

「夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）」が40.2%で最も高く、次いで「ひとり暮らし」が20.2%、「息子・娘との2世帯」が13.1%となっています。



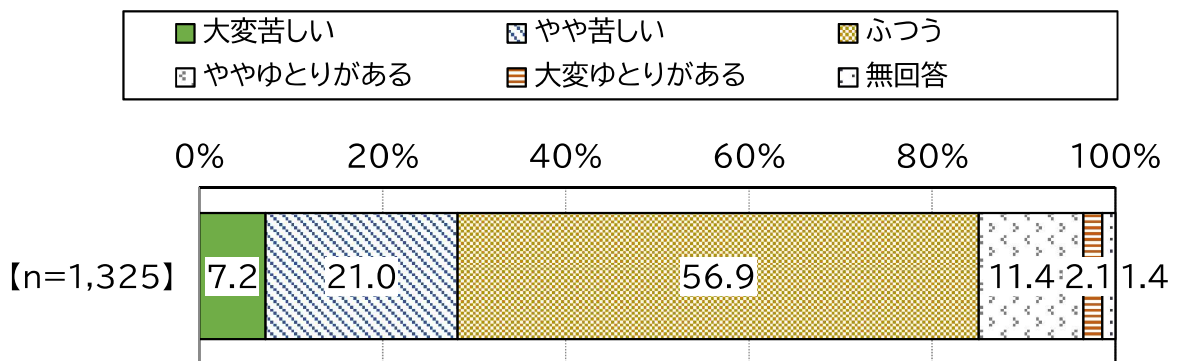
問6 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(1つに○)

「介護・介助は必要ない」が92.5%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が3.7%、「現在、何らかの介護を受けている(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)」が2.7%となっています。



問7 現在の暮らしの状況を経済的に見てどう感じていますか。(1つに○)

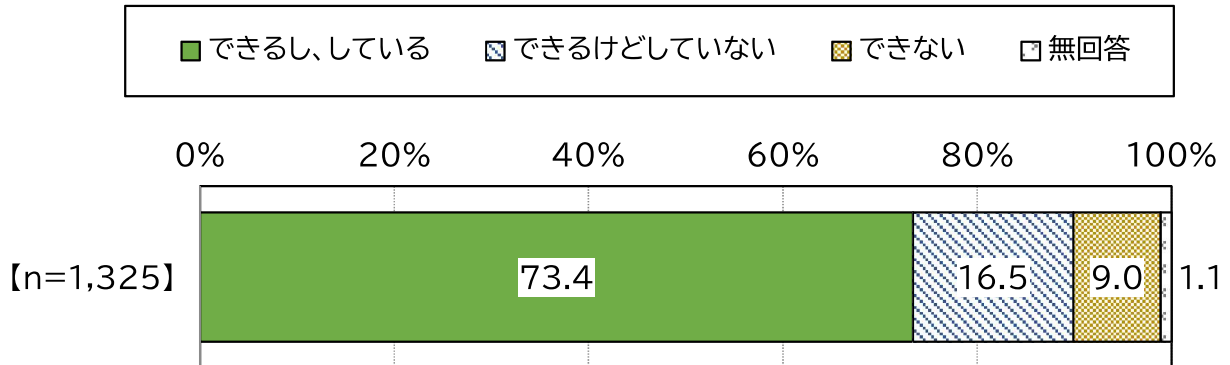
「ふつう」が56.9%で最も高く、「大変苦しい」と「やや苦しい」をあわせた“苦しい”が28.2%、「ややゆとりがある」と「大変ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある”が13.5%となっています。



## 2 からだを動かすことについて

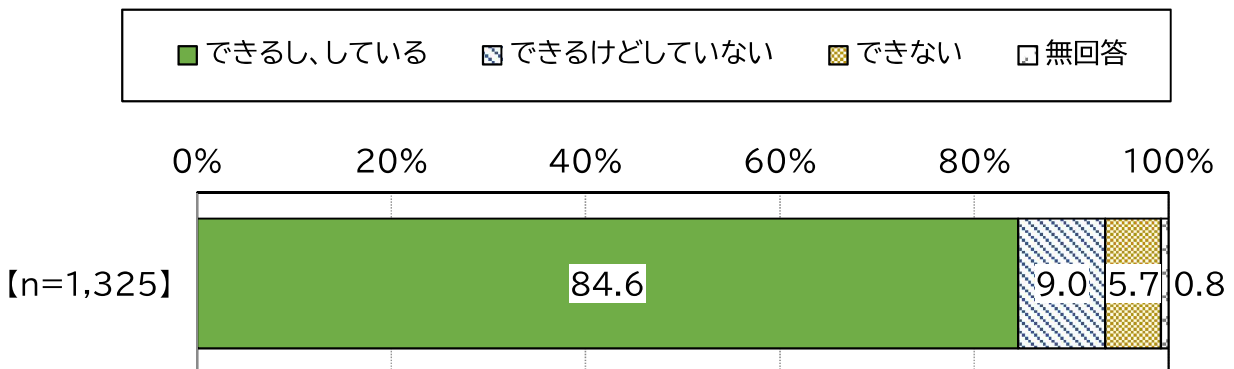
問8 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つに○)

「できるし、している」が73.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が16.5%、「できない」が9.0%となっています。



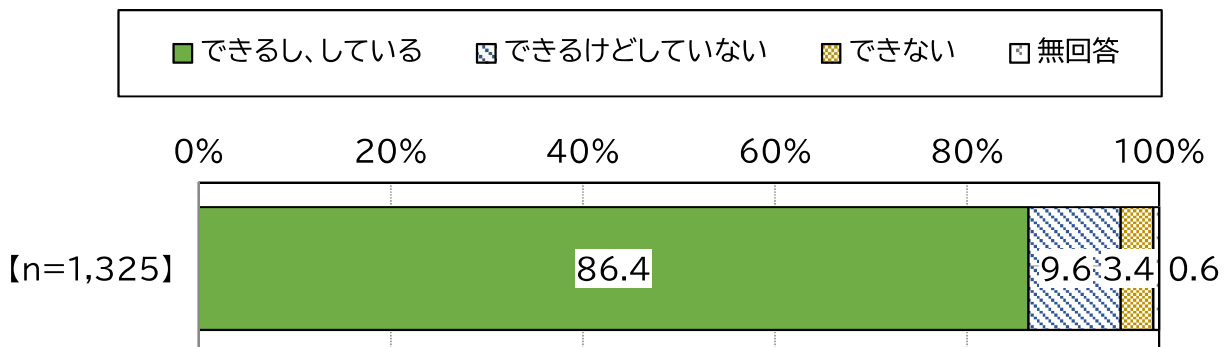
問9 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つに○)

「できるし、している」が84.6%となっています。



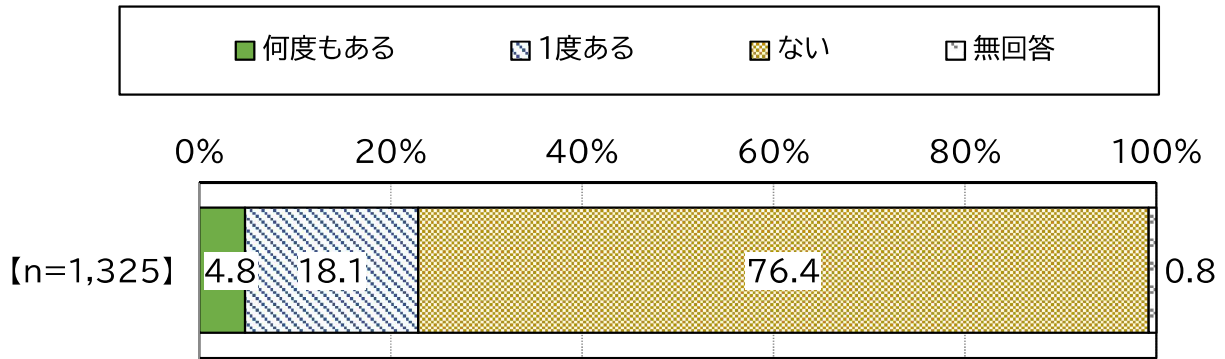
問10 15分位続けて歩いていますか。(1つに○)

「できるし、している」が86.4%となっています。



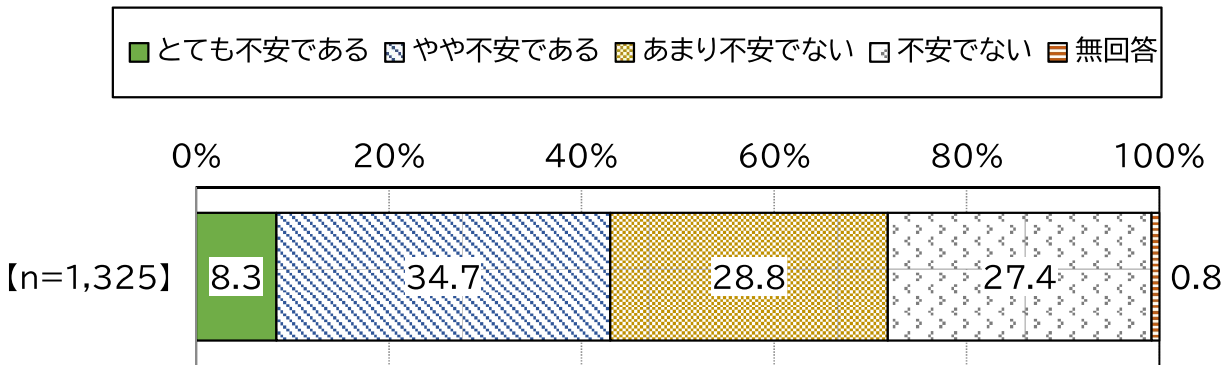
問11 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つに○)

「ない」が76.4%で最も高く、次いで「1度ある」が18.1%となっています。



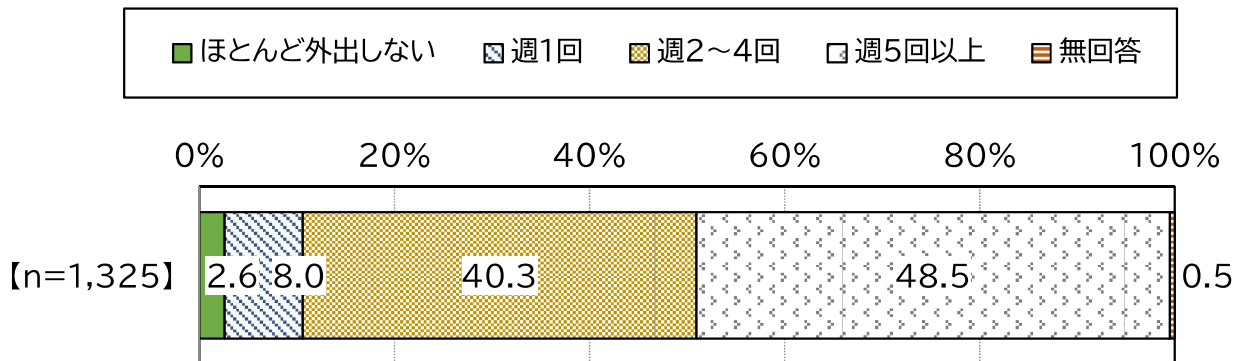
問12 転倒に対する不安は大きいですか。(1つに○)

「とても不安である」と「やや不安である」をあわせた“不安である”の割合が43.0%、「あまり不安でない」と「不安でない」をあわせた“不安でない”が56.2%となっています。



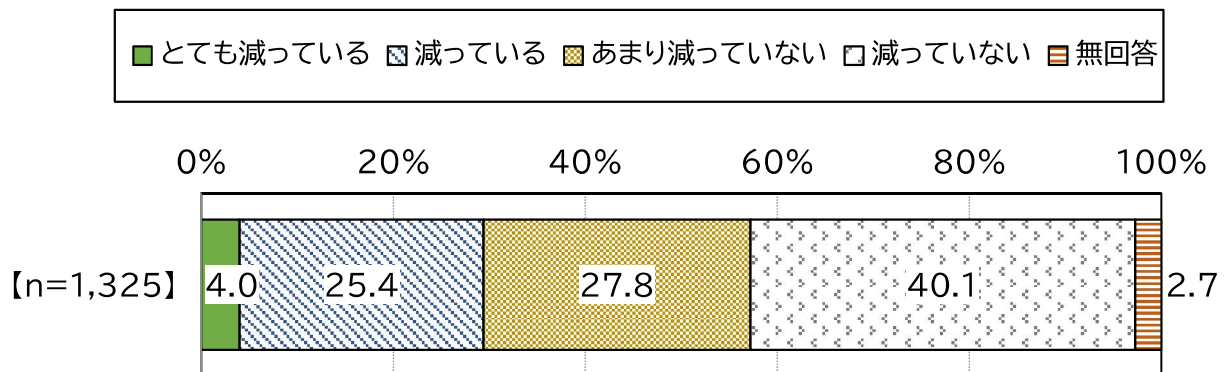
問13 週に1回以上は外出していますか。(1つに○)

「週5回以上」が48.5%で最も高く、次いで「週2～4回」が40.3%となっています。



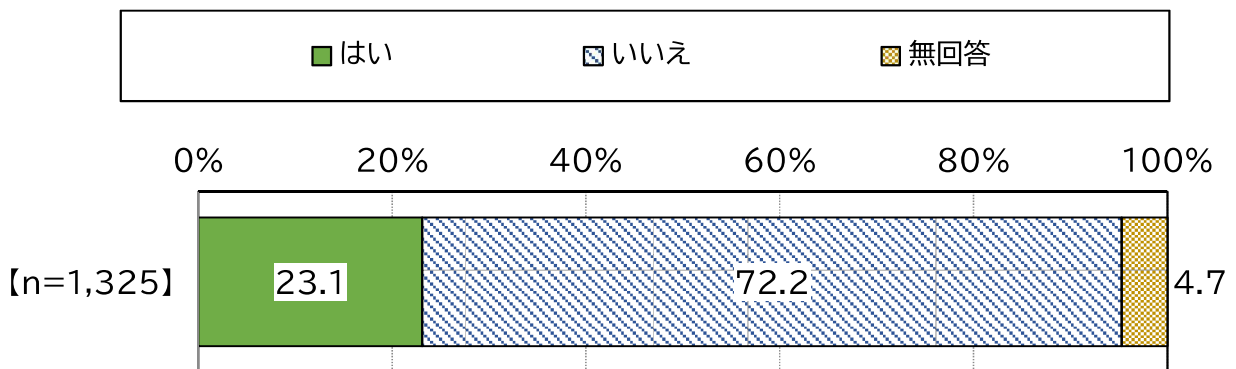
問 14 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つに○)

「とても減っている」と「減っている」をあわせた“減っている”が29.4%、「あまり減っていない」と「減っていない」をあわせた“減っていない”が67.9%となっています。



問 15 外出を控えていますか。(1つに○)

「はい」が23.1%、「いいえ」が72.2%となっています。



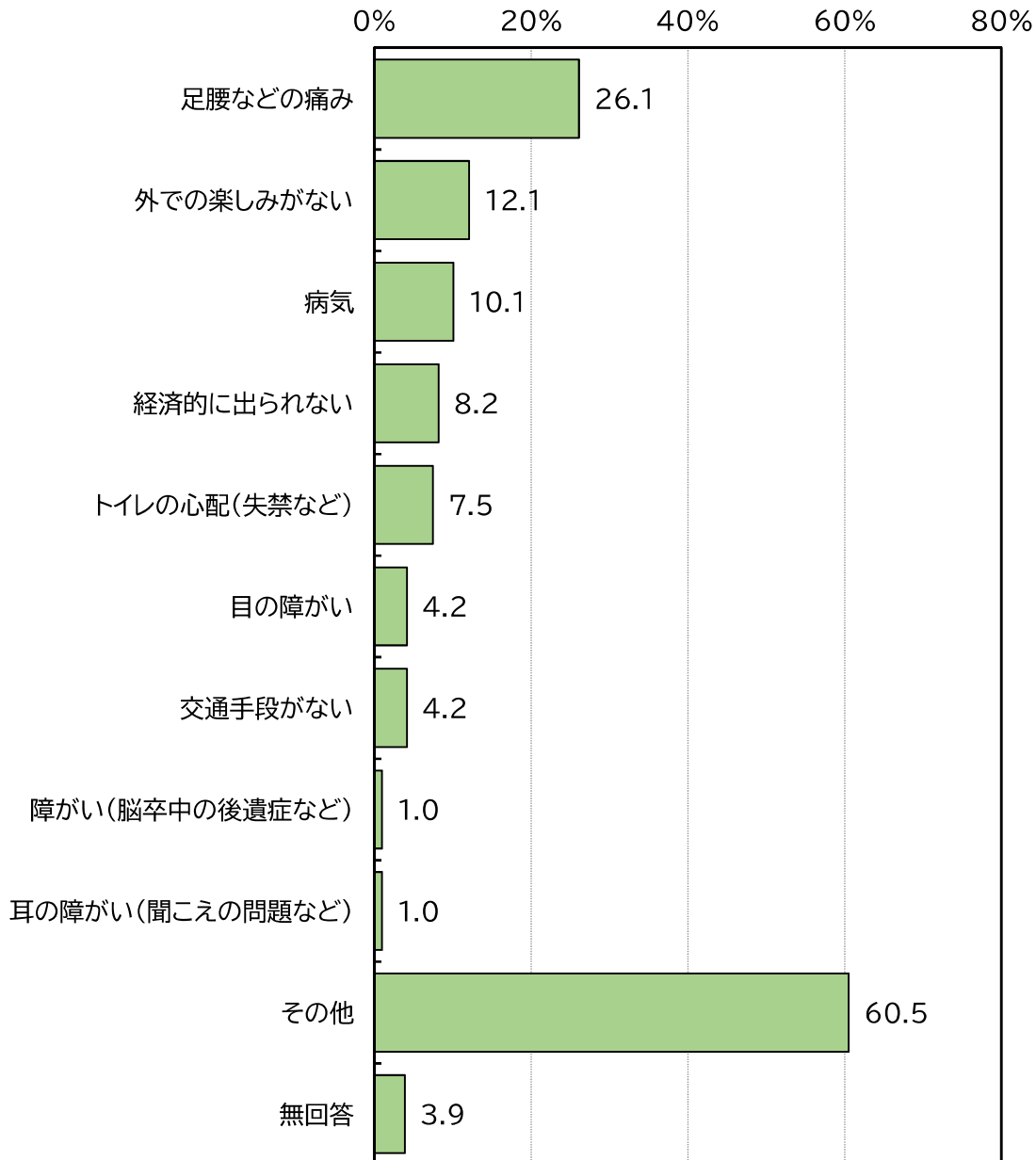


問15で「1. はい」と回答した方におたずねします。

問16 外出を控えている理由は、次のどれですか。(〇はいくつでも)

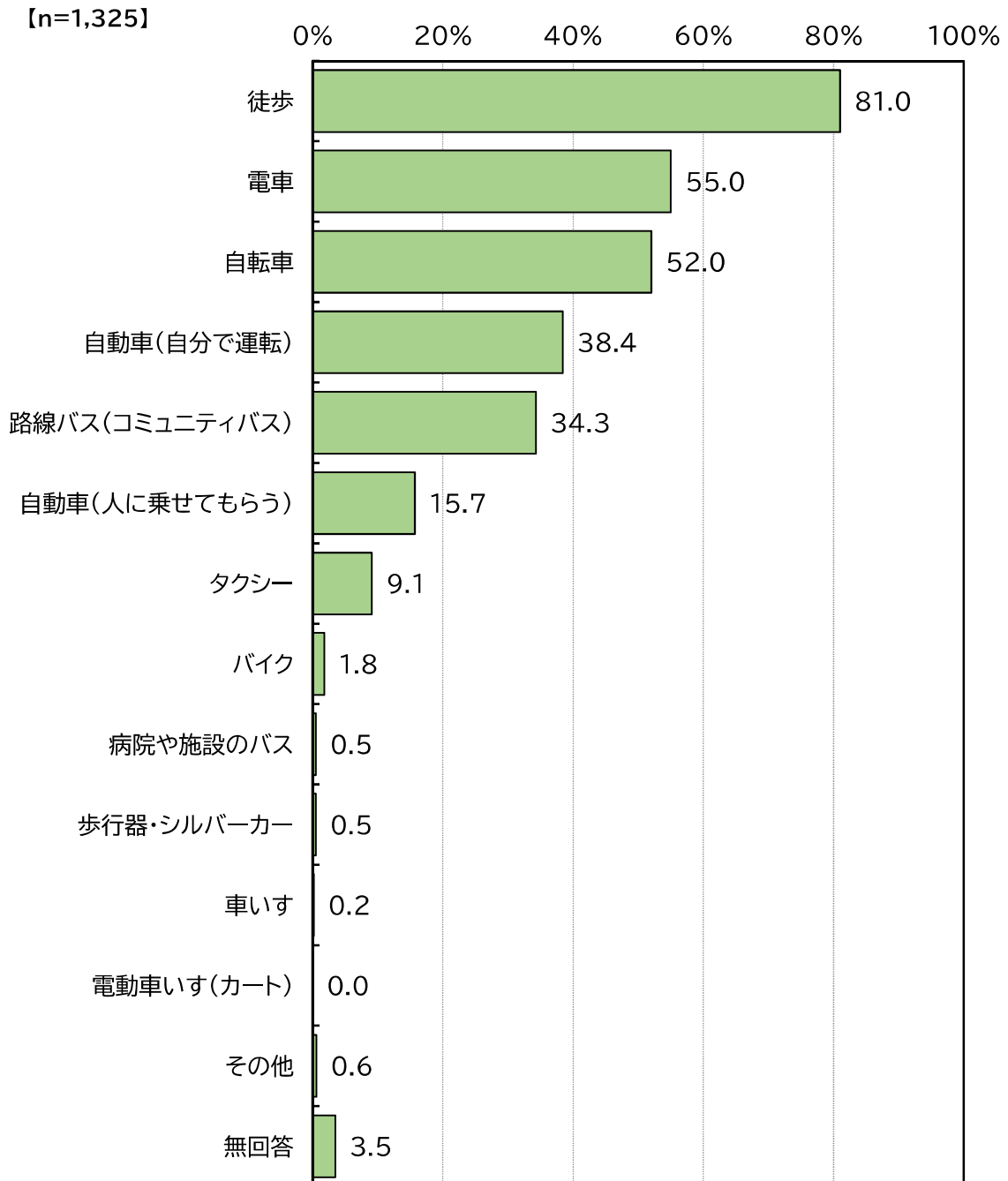
「足腰などの痛み」が26.1%、「外での楽しみがない」が12.1%、「病気」が10.1%となっています。なお、「その他」のうち新型コロナウイルス感染症に関する内容が9割を占めています。

【n=306】



問 17 外出する際の移動手段は何ですか。(〇はいくつでも)

「徒歩」が 81.0%で最も高く、次いで「電車」が 55.0%、「自転車」が 52.0%となっています。

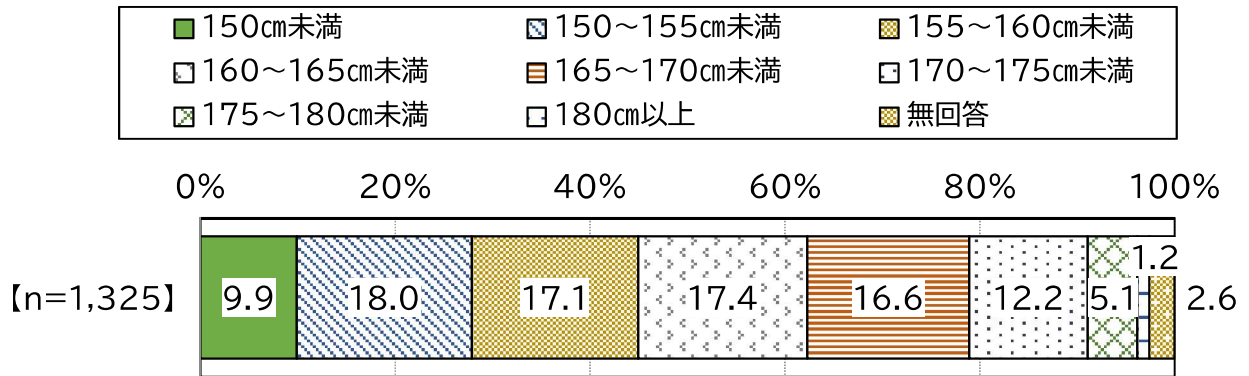


### 3 食べることについて

問18 身長、体重はどれくらいですか。(数字で記入)

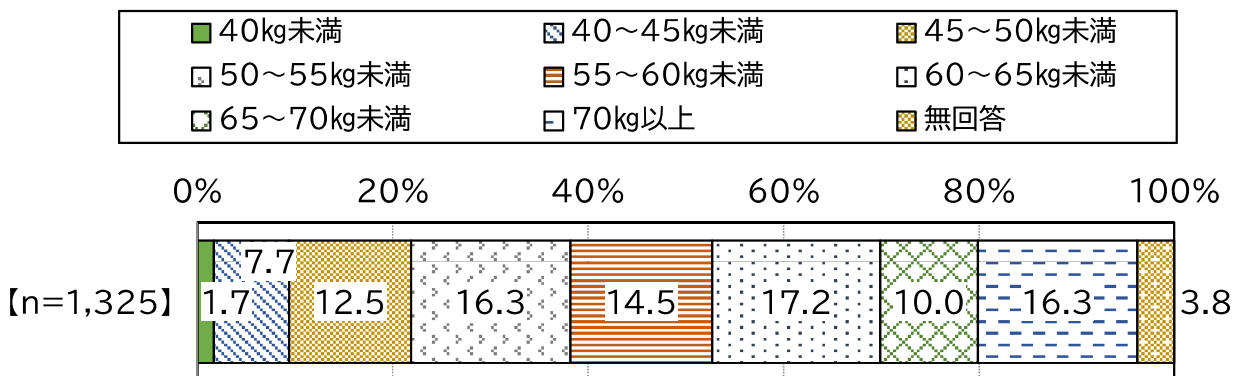
#### 【身長】

「150～155 cm未満」が18.0%で最も高く、次いで「160～165 cm未満」が17.4%、「155～160 cm未満」が17.1%となっています。



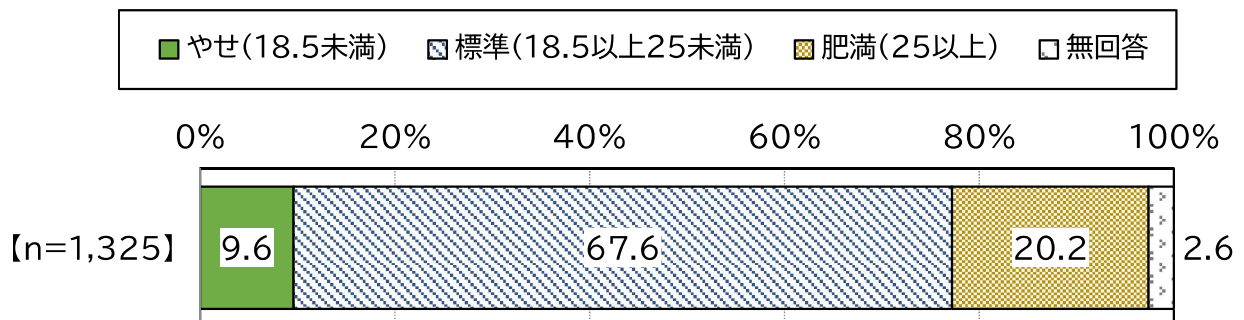
#### 【体重】

「60～65 kg未満」が17.2%で最も高く、次いで「50～55 kg未満」と「70 kg以上」がともに16.3%となっています。



#### 【BMI※】

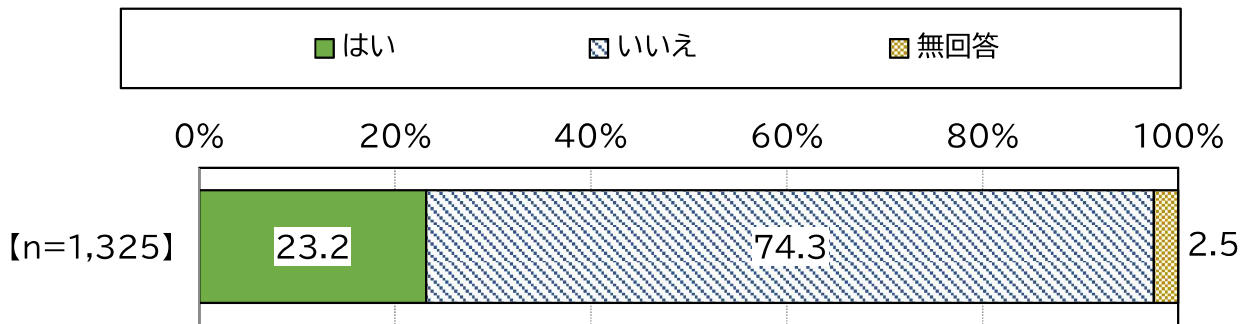
「標準 (18.5以上25未満)」が67.6%で最も高く、次いで「肥満 (25以上)」が20.2%、「やせ (18.5未満)」が9.6%となっています。



※BMIの数値は、体重 (kg) ÷ {身長 (m) × 身長 (m)} を計算して算出します。

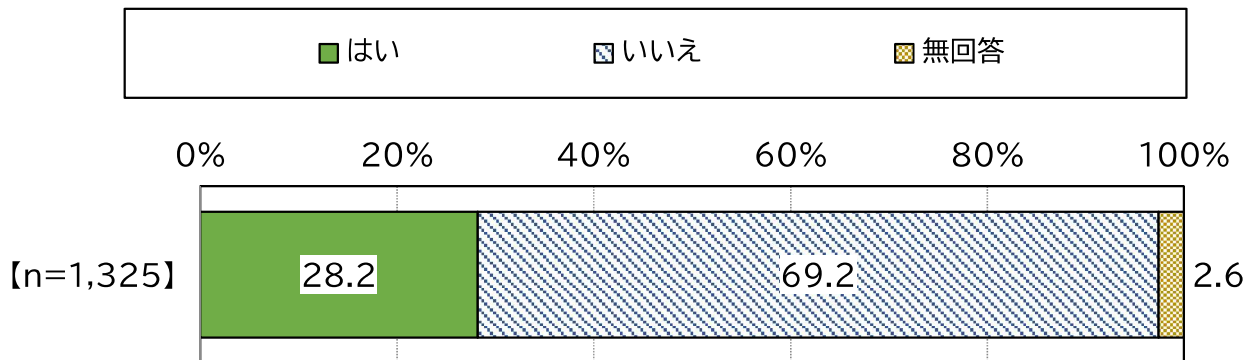
問 19 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つに○)

「はい」が23.2%、「いいえ」が74.3%となっています。



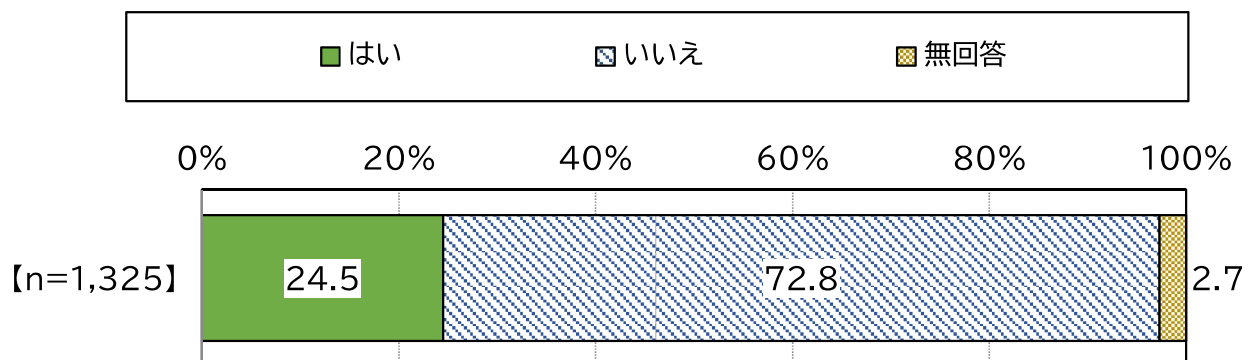
問 20 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つに○)

「はい」が28.2%、「いいえ」が69.2%となっています。



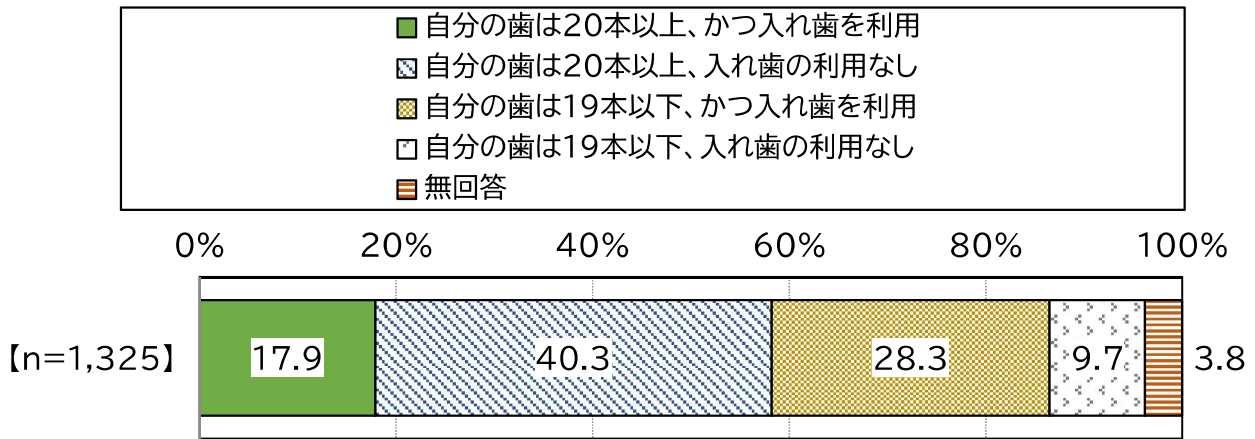
問 21 口の渇きが気になりますか。(1つに○)

「はい」が24.5%、「いいえ」が72.8%となっています。



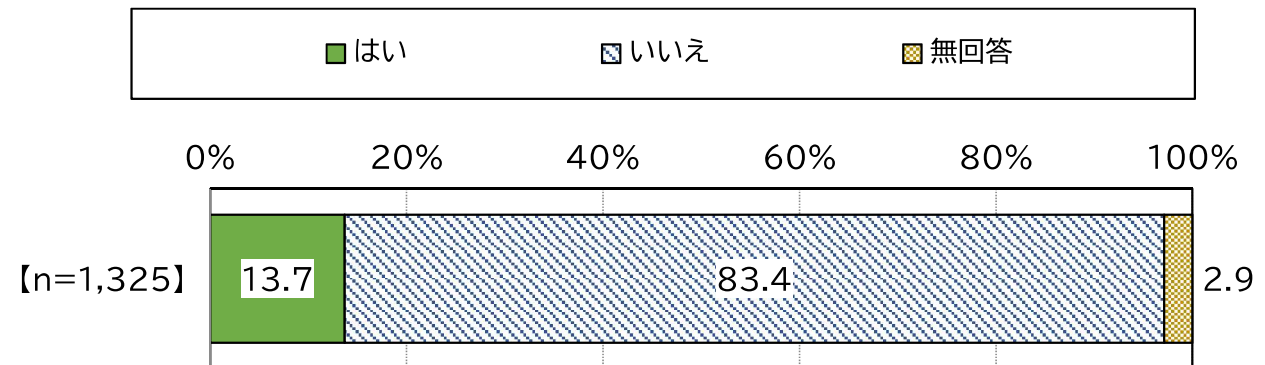
問22 歯の数と入れ歯の利用状況を教えてください。(1つに○)  
 (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が40.3%で最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が28.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が17.9%となっています。



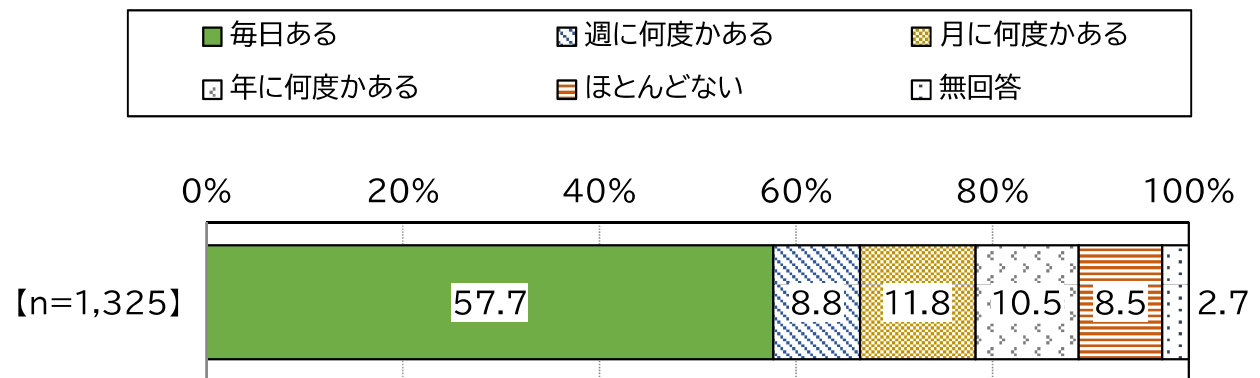
問23 この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つに○)

「はい」が13.7%、「いいえ」が83.4%となっています。



問24 どなたかと食事をとる機会がありますか。(1つに○)

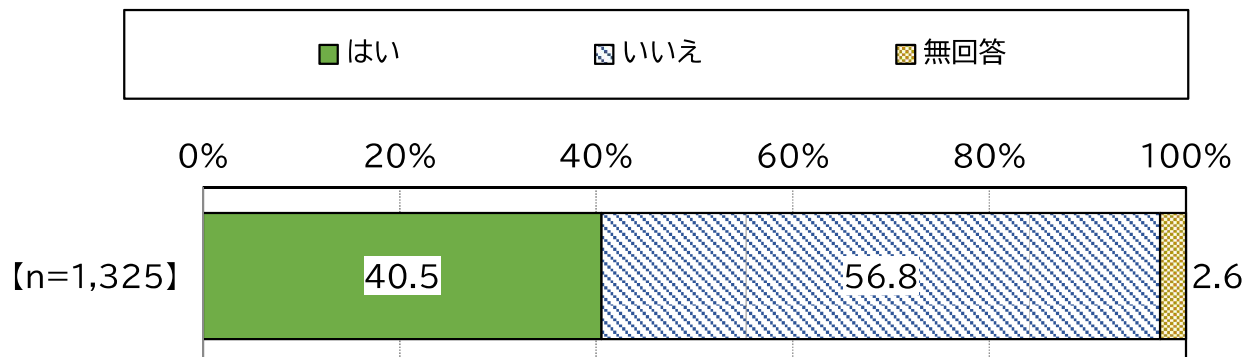
「毎日ある」が57.7%で最も高く、次いで「月に何度かある」が11.8%、「年に何度かある」が10.5%となっています。



## 4 毎日の生活について

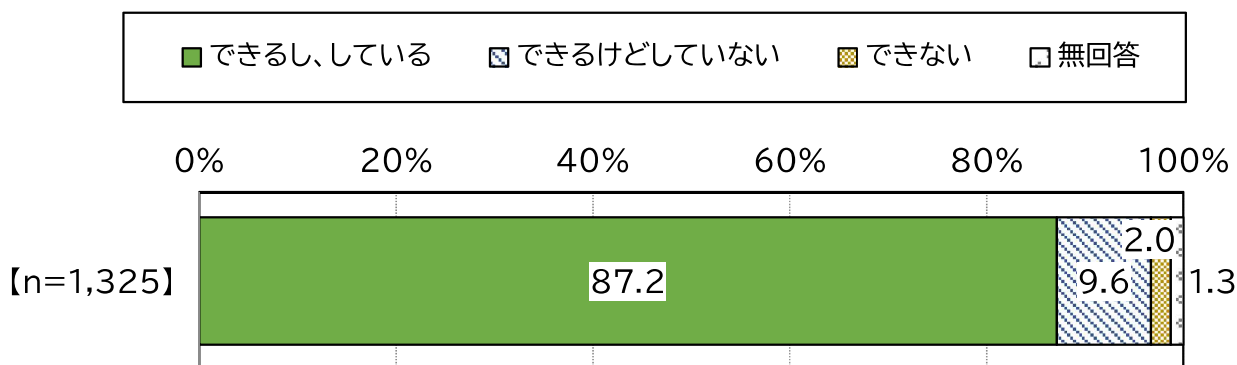
問 25 物忘れが多いと感じますか。(1つに○)

「はい」が40.5%、「いいえ」が56.8%となっています。



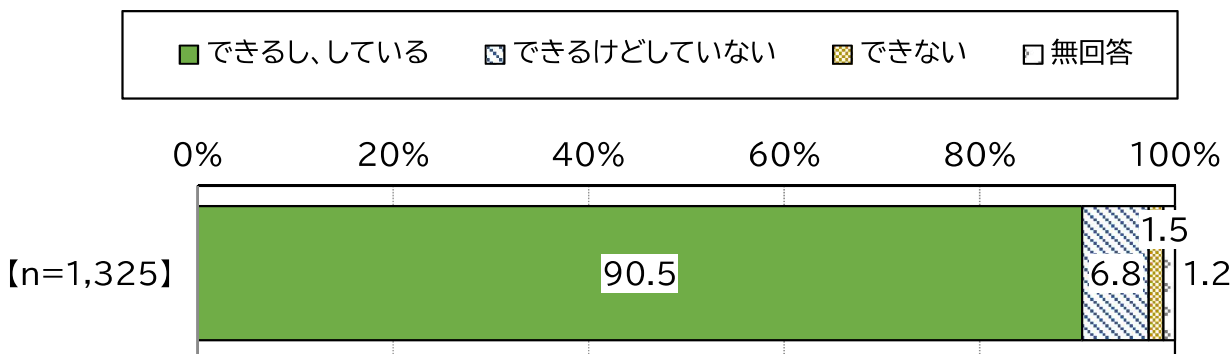
問 26 バスや電車を使って1人で外出していますか。(自家用車でも可)(1つに○)

「できるし、している」が87.2%となっています。



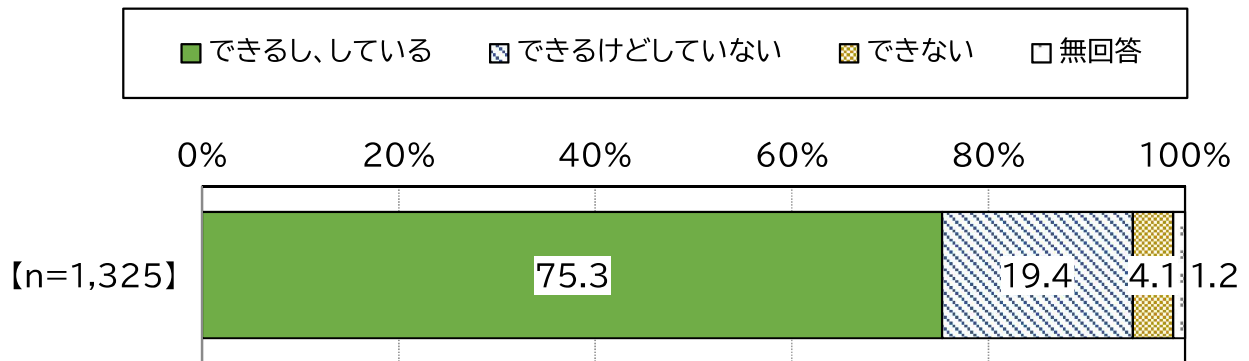
問 27 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が90.5%となっています。



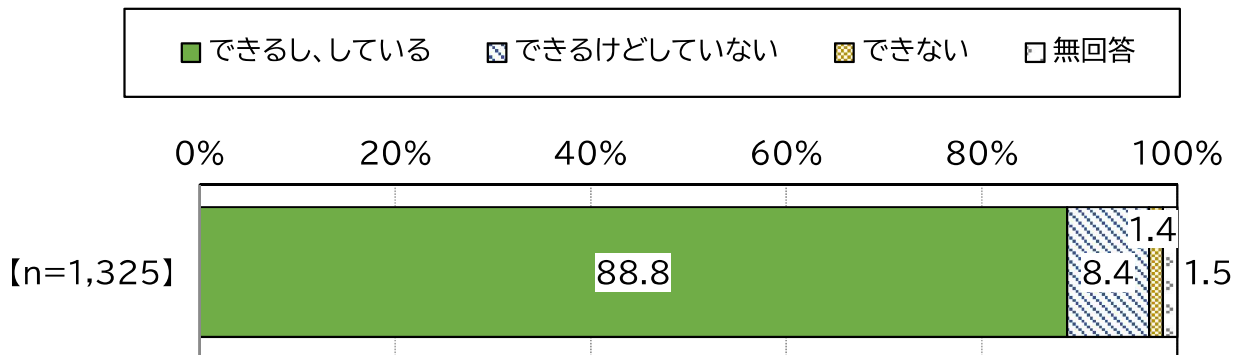
問28 自分で食事の用意をしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が75.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.4%、「できない」が4.1%となっています。



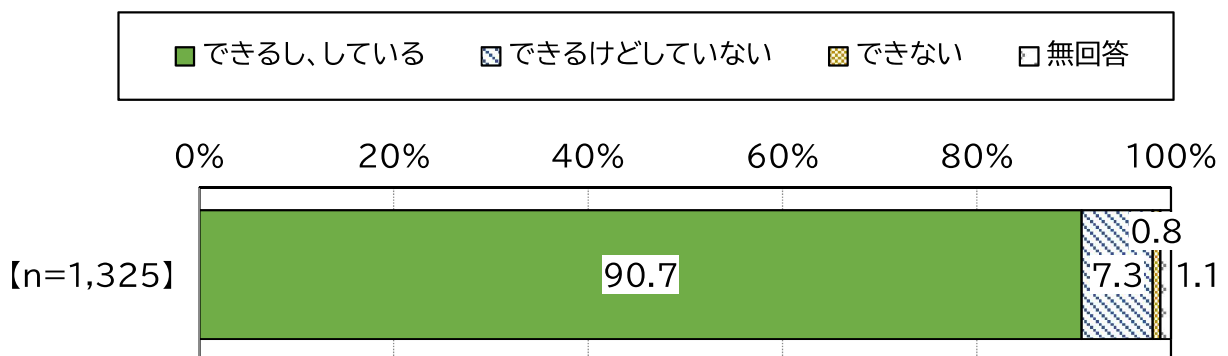
問29 自分で請求書の支払いをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が88.8%となっています。



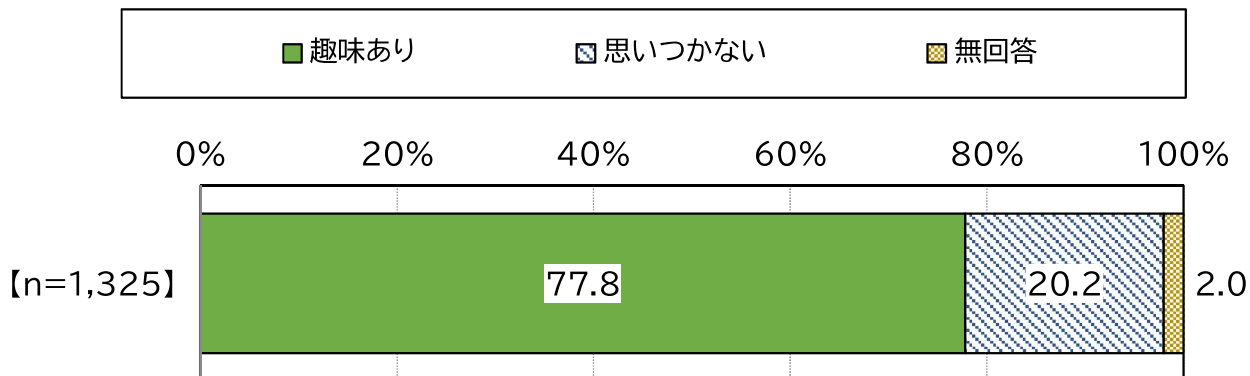
問30 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(1つに○)

「できるし、している」が90.7%となっています。



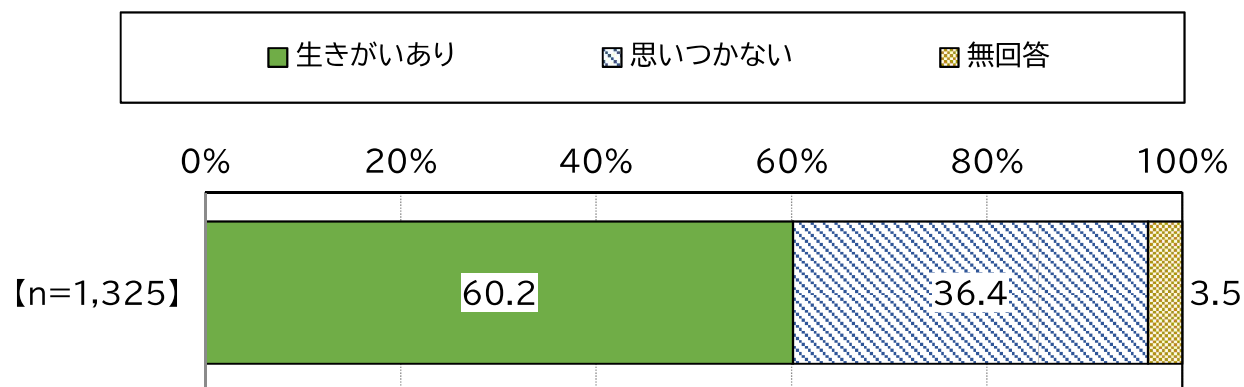
問 31 趣味はありますか。(1つに○)

「趣味あり」が77.8%、「思いつかない」が20.2%となっています。



問 32 生きがいがありますか。(1つに○)

「生きがいあり」が60.2%、「思いつかない」が36.4%となっています。





## 5 地域での活動について

問33 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。  
(それぞれ1つに○)

②スポーツ関係のグループやクラブ、③趣味関係のグループ、⑧収入のある仕事で“参加している”が20%を超えています。一方、「参加していない」はすべての区分で40%を超えています。

単位：%

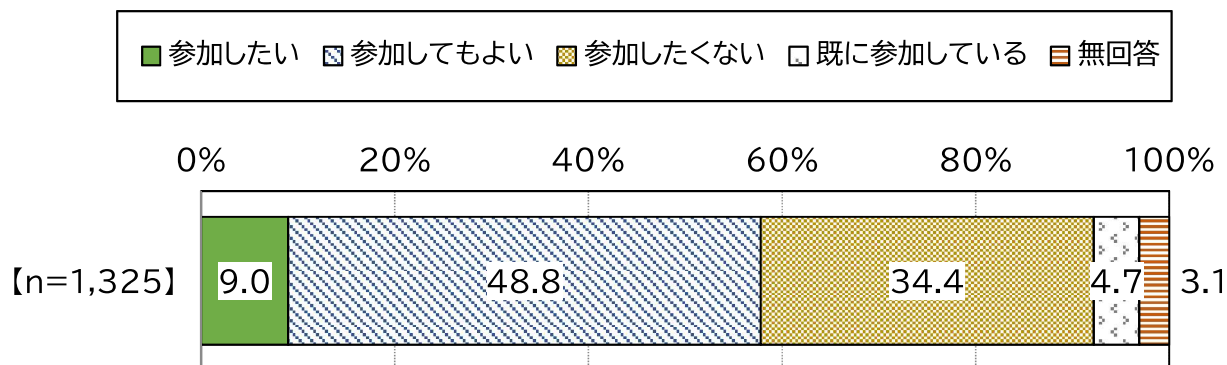
区分	有効回答数 (件)	“参加している”					参加していない	無回答
		週4回以上	週2～3回	週1回	月1～3回	年に数回		
①ボランティアのグループ	1,325	0.7	1.4	2.0	2.8	4.2	64.9	24.1
②スポーツ関係のグループ やクラブ	1,325	3.6	9.9	6.2	4.9	2.5	54.3	18.6
③趣味関係のグループ	1,325	0.8	3.8	5.8	12.2	4.4	53.6	19.4
④学習・教養サークル	1,325	0.2	0.8	1.9	5.1	2.6	64.3	25.1
⑤地域の居場所・通いの場※	1,325	1.0	0.8	0.8	1.2	1.0	69.1	26.0
⑥高齢クラブ	1,325	-	0.5	0.2	1.1	0.5	71.6	26.1
⑦自治会・町内会	1,325	0.2	0.3	0.3	2.9	10.0	61.4	25.0
⑧収入のある仕事	1,325	17.3	8.8	1.4	2.0	2.0	48.9	19.6

※地域の居場所・通いの場

高齢者が気軽に通うことができるサロンや体操などを行う場

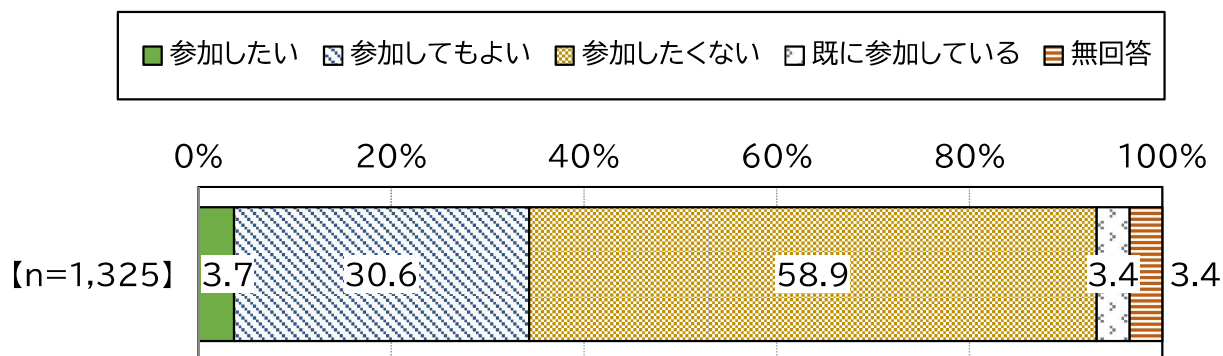
問 34 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

「参加してもよい」が48.8%で最も高く、次いで「参加したくない」が34.4%、「参加したい」が9.0%となっています。



問 35 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(1つに○)

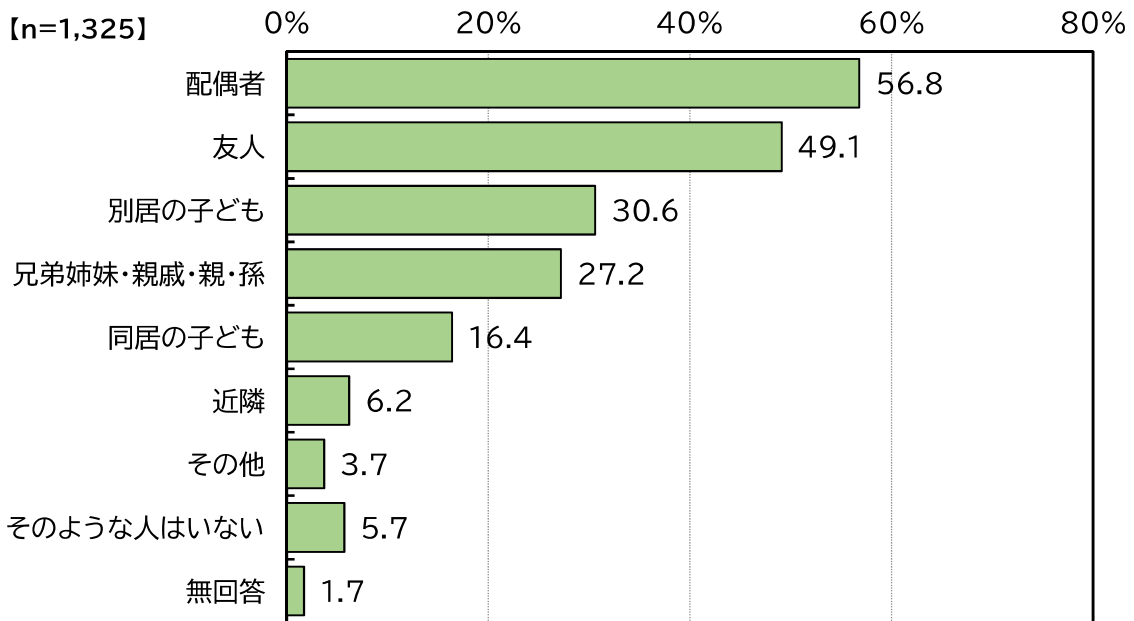
「参加したくない」が58.9%で最も高く、次いで「参加してもよい」が30.6%、「参加したい」が3.7%となっています。



6 たすけあいについて

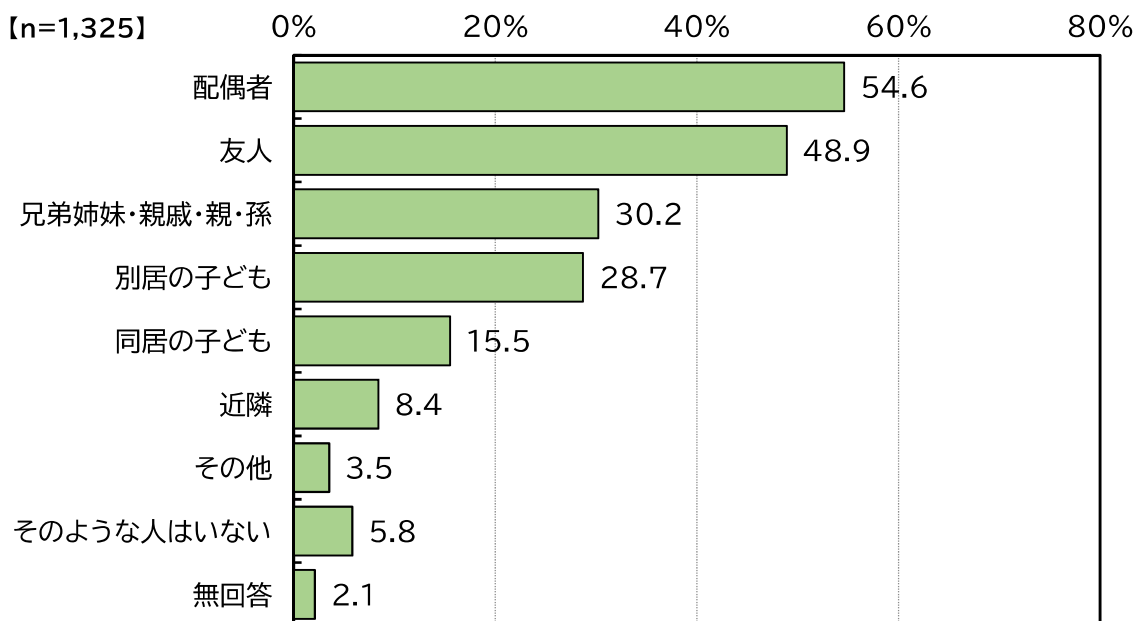
問 36 あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人はだれですか。（○はいくつでも）

「配偶者」が56.8%で最も高く、次いで「友人」が49.1%、「別居の子ども」が30.6%となっています。



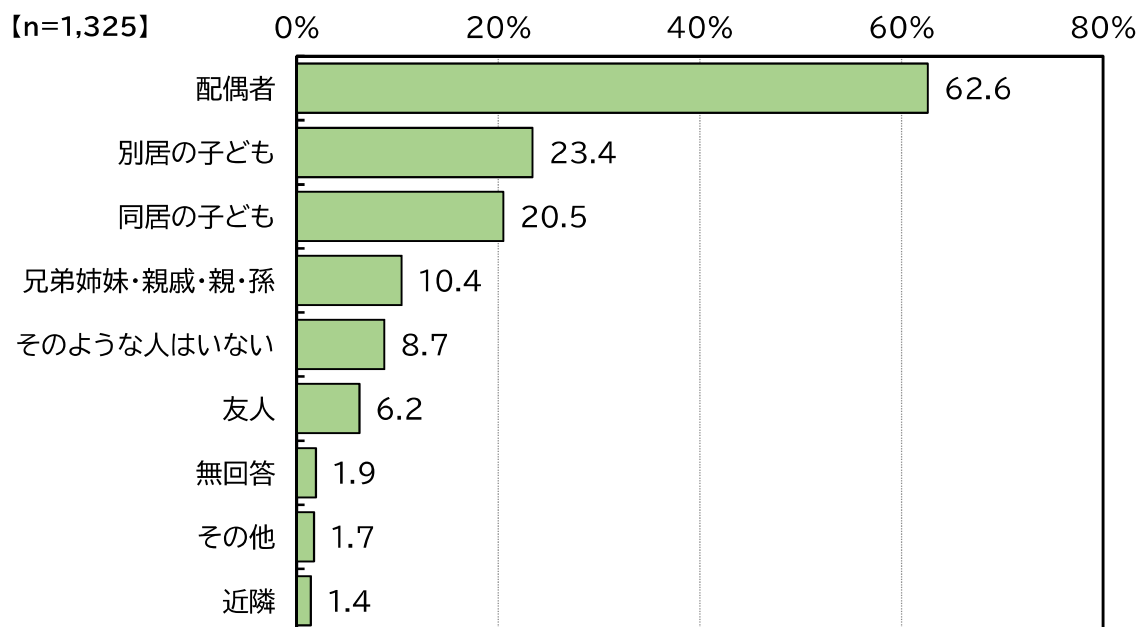
問 37 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人はだれですか。（○はいくつでも）

「配偶者」が54.6%で最も高く、次いで「友人」が48.9%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が30.2%となっています。



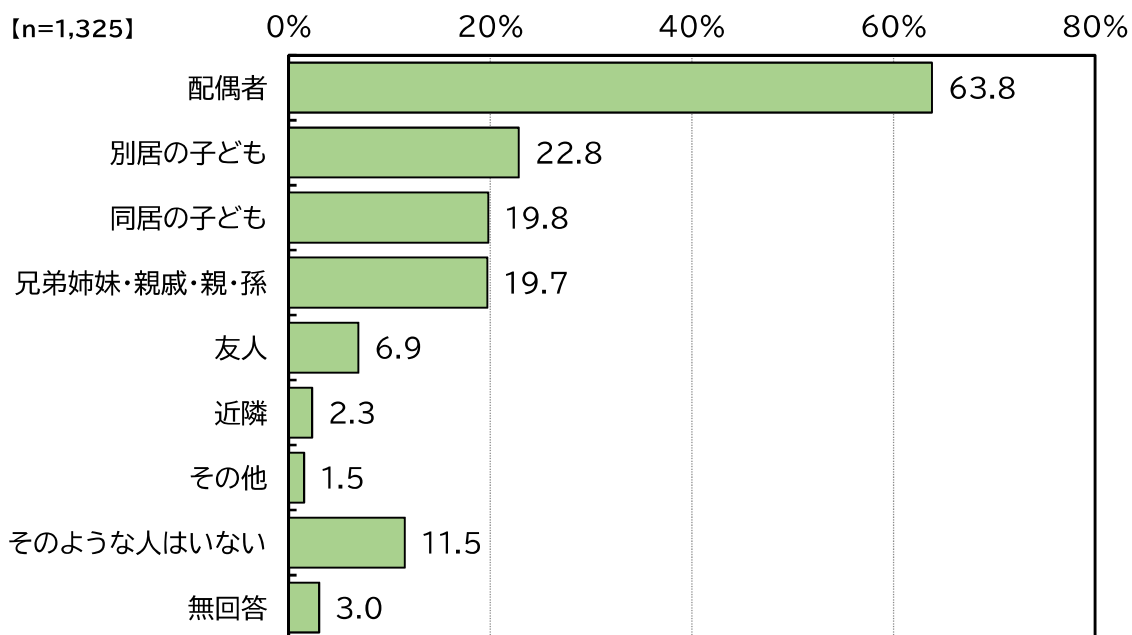
問 38 あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はだれですか。(〇はいくつでも)

「配偶者」が62.6%で最も高く、次いで「別居の子ども」が23.4%、「同居の子ども」が20.5%となっています。



問 39 反対に、看病や世話をしてあげる人はだれですか。(〇はいくつでも)

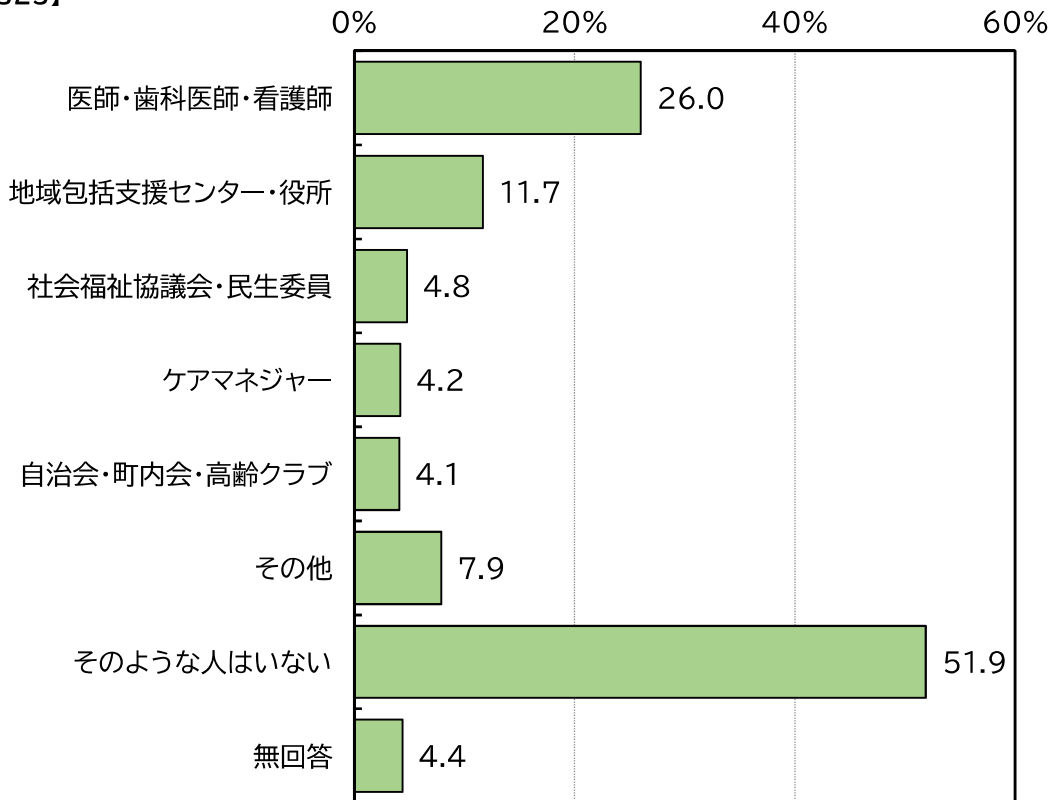
「配偶者」が63.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が22.8%、「同居の子ども」が19.8%となっています。



問40 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。  
(〇はいくつでも)

「そのような人はいない」が51.9%で最も高く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.0%、「地域包括支援センター・役所」が11.7%となっています。

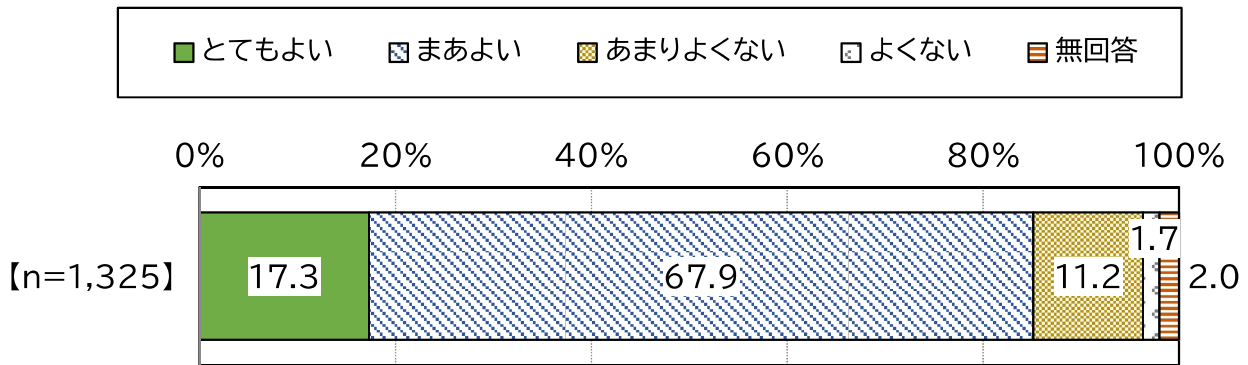
【n=1,325】



## 7 健康について

問 41 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(1つに○)

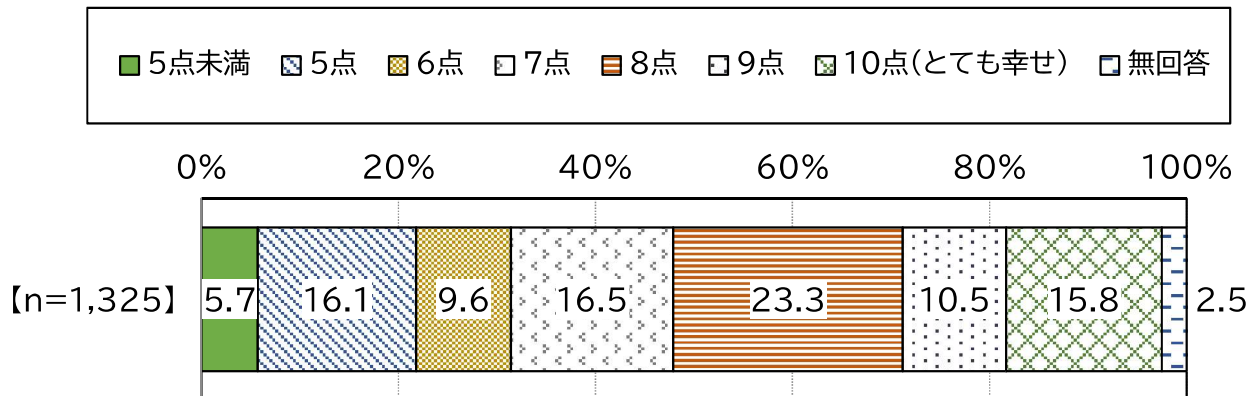
「とてもよい」と「まあよい」をあわせた“よい”が85.2%、「あまりよくない」と「よくない」をあわせた“よくない”が12.9%となっています。



問 42 あなたは、現在どの程度幸せですか。

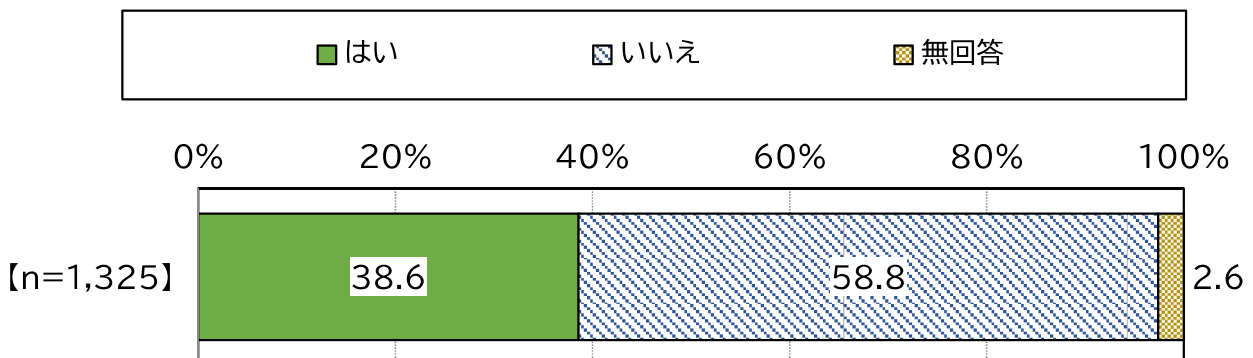
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、1つに○をつけてください)

「8点」が23.3%で最も高く、次いで「7点」が16.5%、「5点」が16.1%となっています。



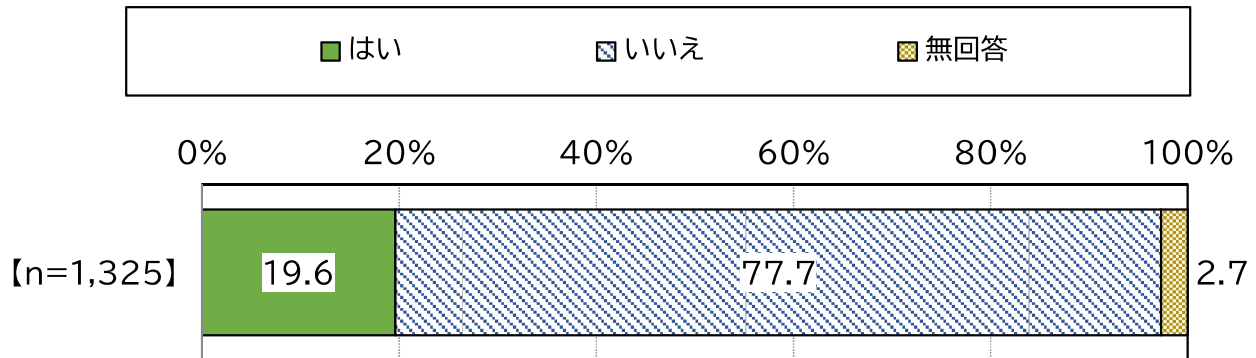
問 43 この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(1つに○)

「はい」が38.6%、「いいえ」が58.8%となっています。



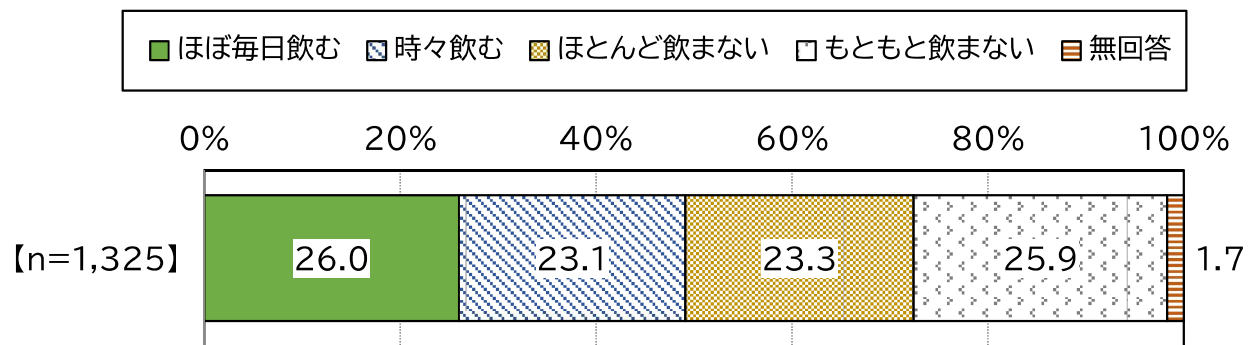
問 44 この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(1つに○)

「はい」が19.6%、「いいえ」が77.7%となっています。



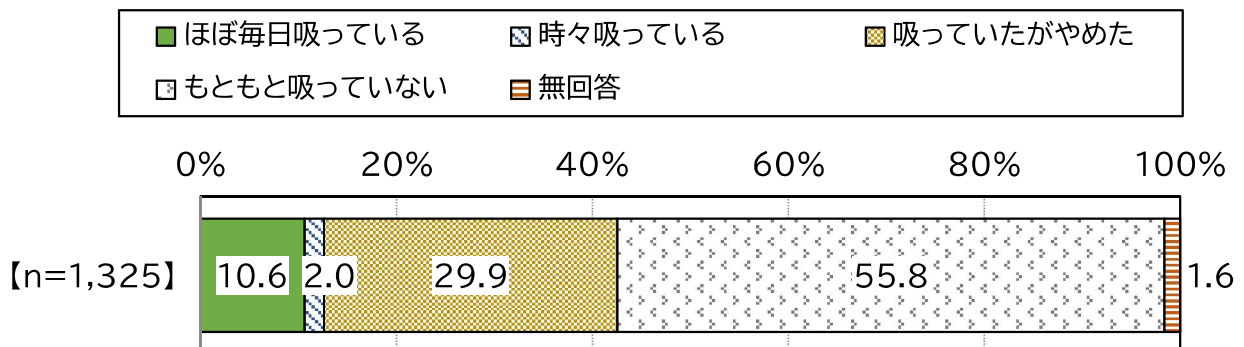
問 45 お酒は飲みますか。(1つに○)

「ほぼ毎日飲む」と「時々飲む」をあわせた“飲む”が49.1%、「ほとんど飲まない」と「もともと飲まない」をあわせた“飲まない”が49.2%となっています。



問 46 タバコは吸っていますか。(1つに○)

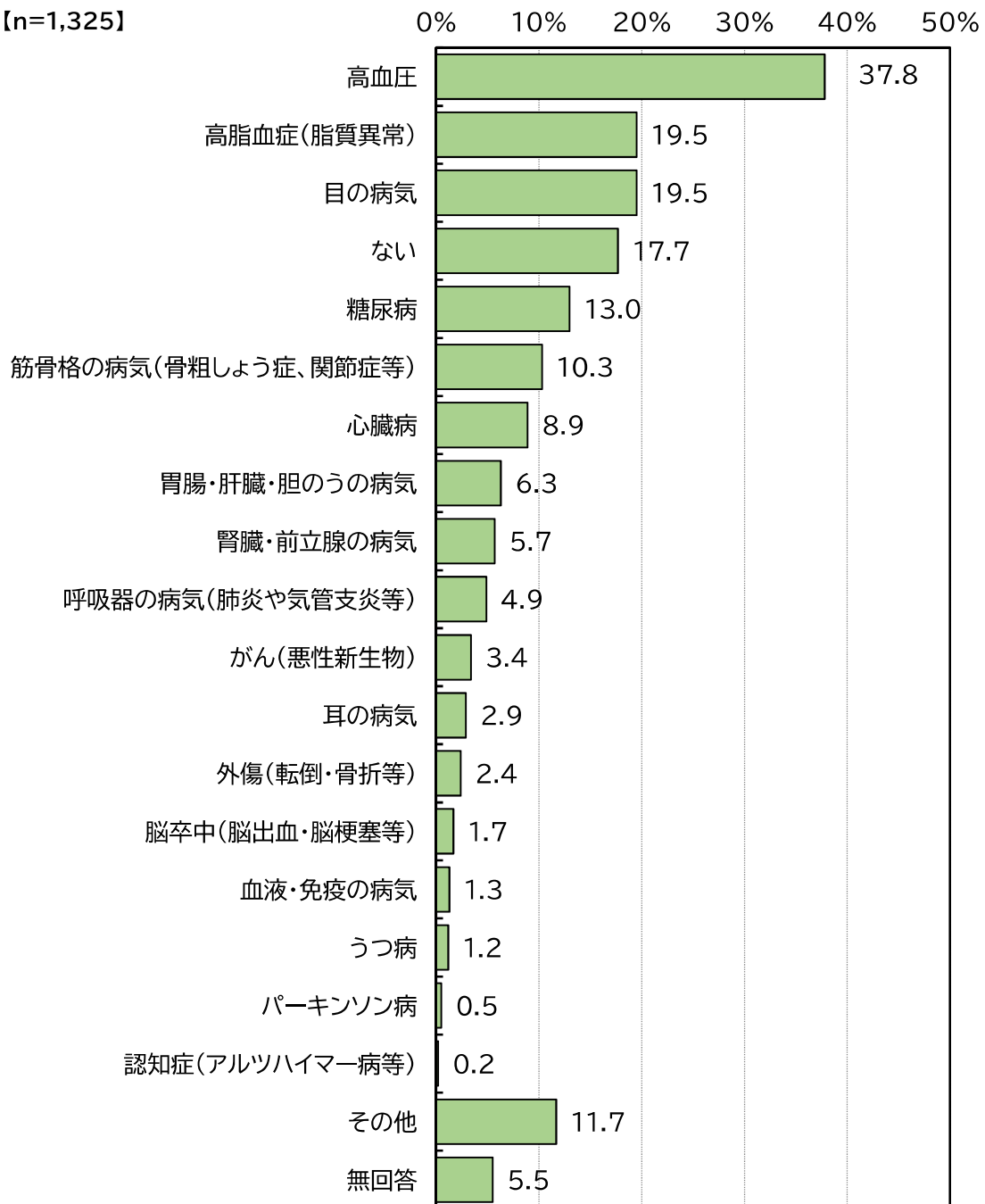
「ほぼ毎日吸っている」と「時々吸っている」をあわせた“吸っている”が12.6%、「吸っていたがやめた」と「もともと吸っていない」とをあわせた“吸っていない”が85.7%となっています。



問 47 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(〇はいくつでも)

「高血圧」が 37.8%で最も高く、次いで「高脂血症(脂質異常)」と「目の病気」がともに 19.5% となっています。

【n=1,325】

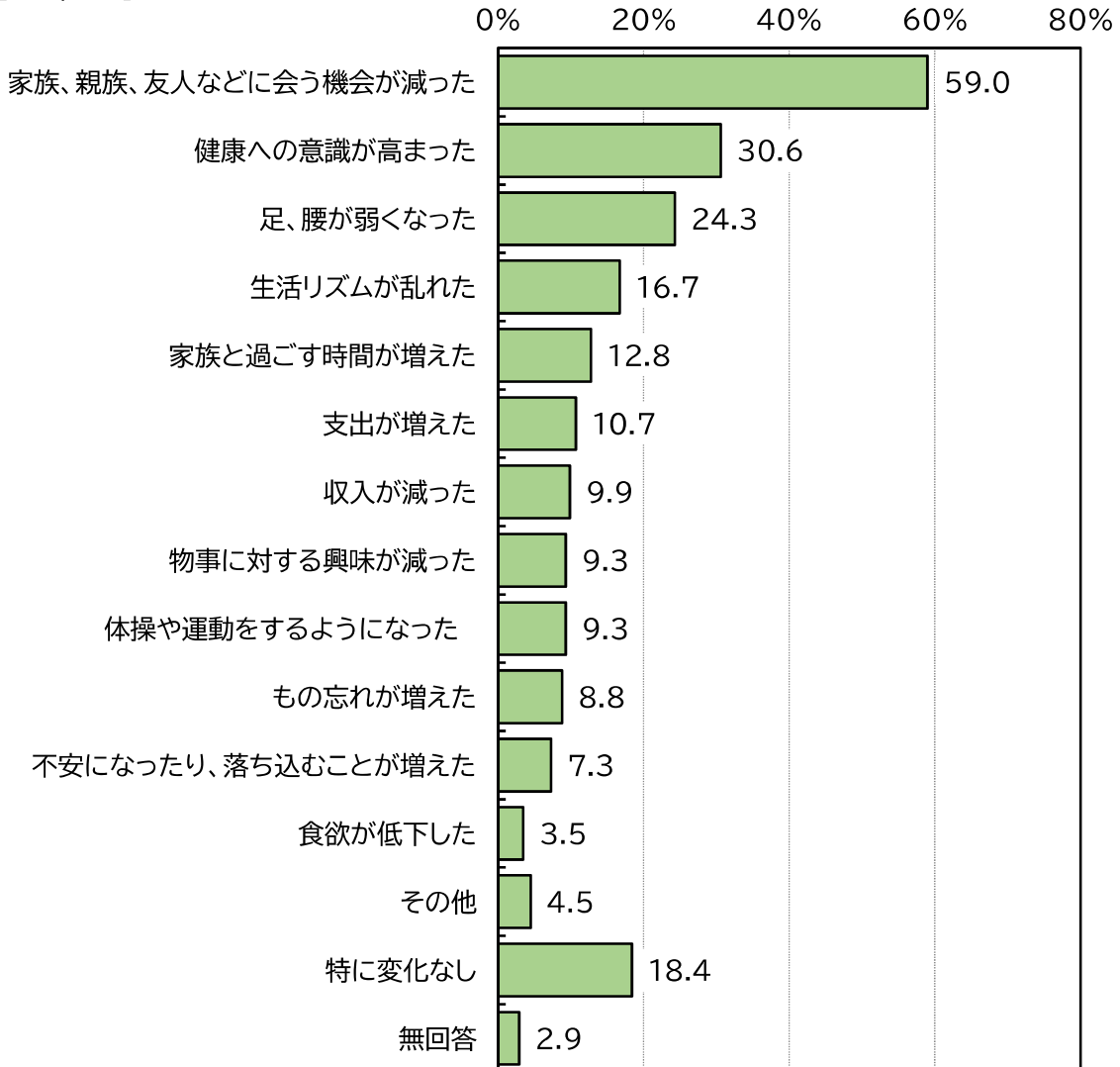




問48 新型コロナウイルス感染症が流行したことで、生活や健康に影響があったものは何ですか。(〇はいくつでも)

「家族、親族、友人などに会う機会が減った」が59.0%で最も高く、次いで「健康への意識が高まった」が30.6%、「足、腰が弱くなった」が24.3%となっています。

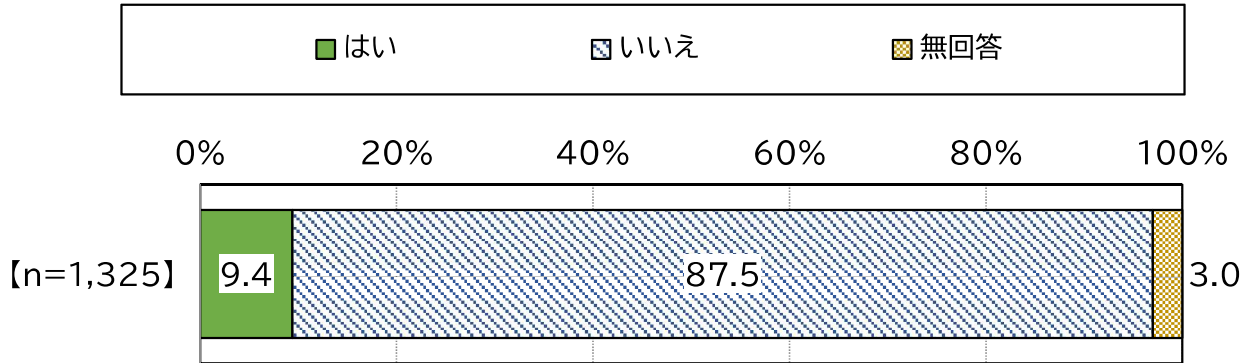
【n=1,325】



## 8 認知症について

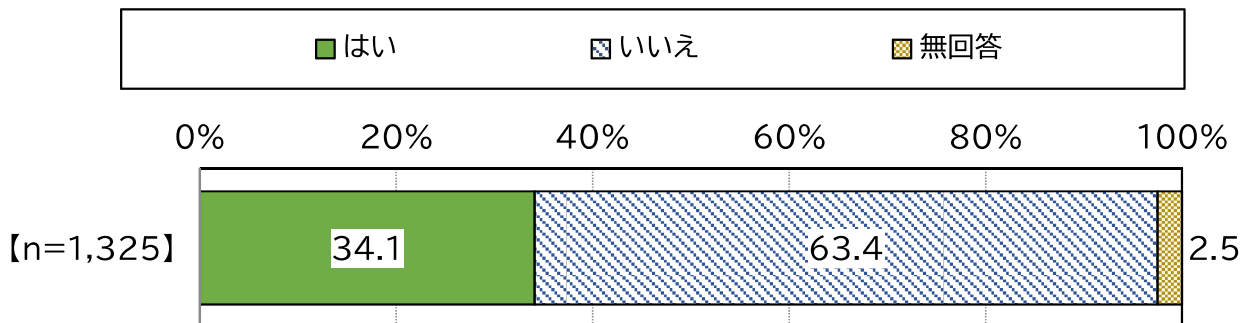
問 49 あなたご自身に認知症がある、または家族にそのような人がいますか。  
(1つに○)

「はい」が9.4%、「いいえ」が87.5%となっています。



問 50 認知症に関する相談窓口を知っていますか。(1つに○)

「はい」が34.1%、「いいえ」が63.4%となっています。



## 9 生活機能評価等に関する分析

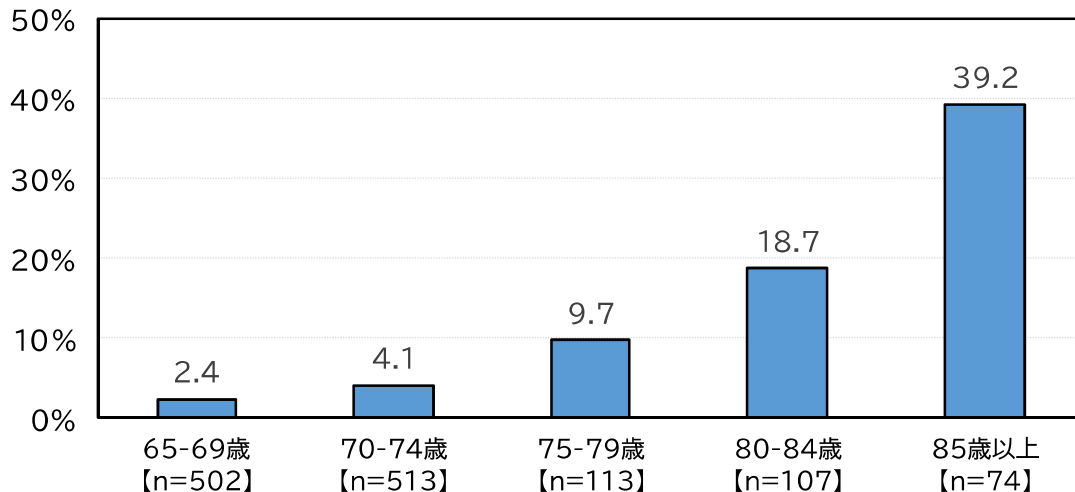
## ①運動器の機能低下

調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を運動器の機能低下のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく運動器の機能低下リスクの評価結果をみると、年齢階級が高くなるにつれ、リスク該当者の割合が増加しています。特に80歳以上で増加の幅が大きくなり、80～84歳では18.7%と、75～79歳に比べて9.0ポイント高くなっています。さらに85歳以上では39.2%と、80～84歳に比べて20.5ポイント高くなっています。

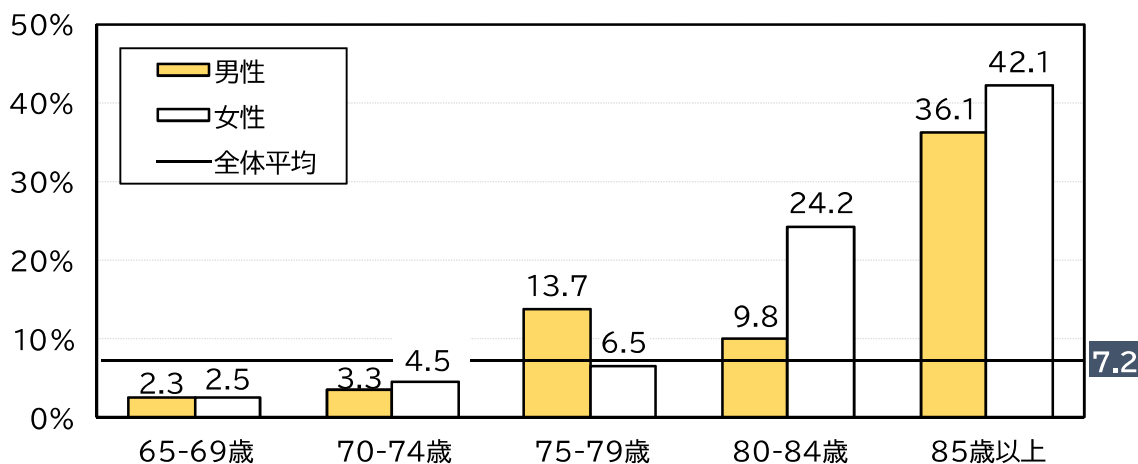


※各年齢階級の【 】内は有効回答数

全体平均では、7.2%が運動器の機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階層別にみると、男性は75歳以上で全体平均を上回っており、85歳以上で36.1%と、80～84歳に比べて26.3ポイント増加しています。女性は75～79歳をのぞいて男性に比べて高くなっており、80歳以上で全体平均を上回っています。また、85歳以上で42.1%と、80～84歳に比べて17.9ポイント増加しています。

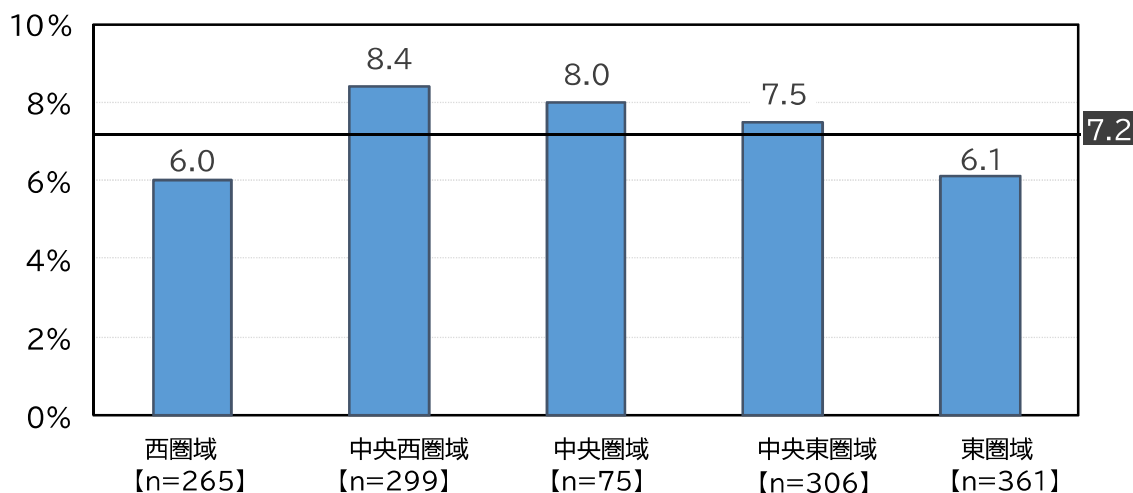
【運動器の機能低下リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	257	245	51	41	36
女性	244	267	62	66	38

圏域別にみると、中央西圏域、中央圏域、中央東圏域で該当者の割合が全体平均である7.2%を超えています。最も高い圏域は中央西圏域で8.4%、最も低い圏域は西圏域で6.0%となっており、2.4ポイントの差があります。

【運動器の機能低下リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数

## ②閉じこもり傾向

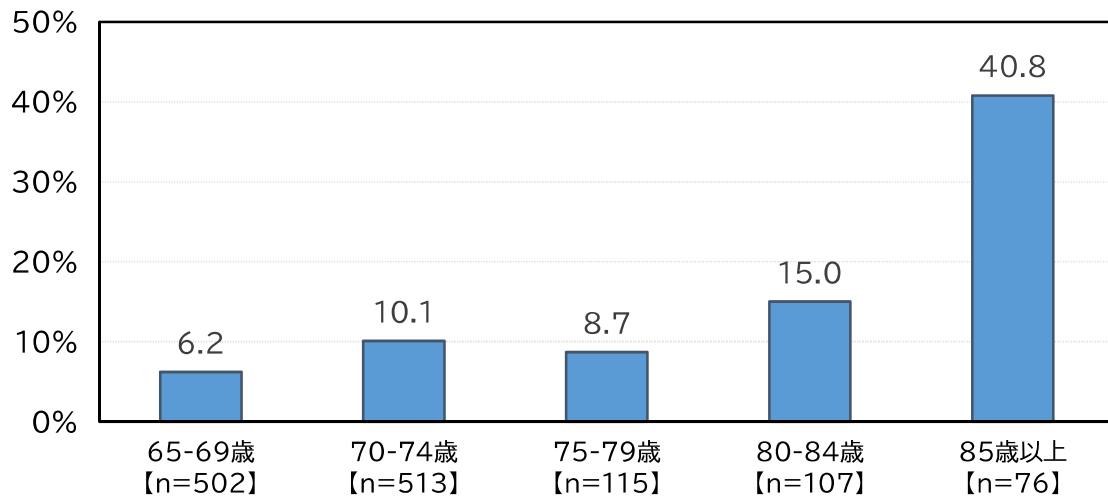
調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を閉じこもり傾向のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問13	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく閉じこもり傾向リスクの評価結果をみると、85歳以上で40.8%と最も高くなっています。

【閉じこもりリスク該当者の割合：年齢階層別】

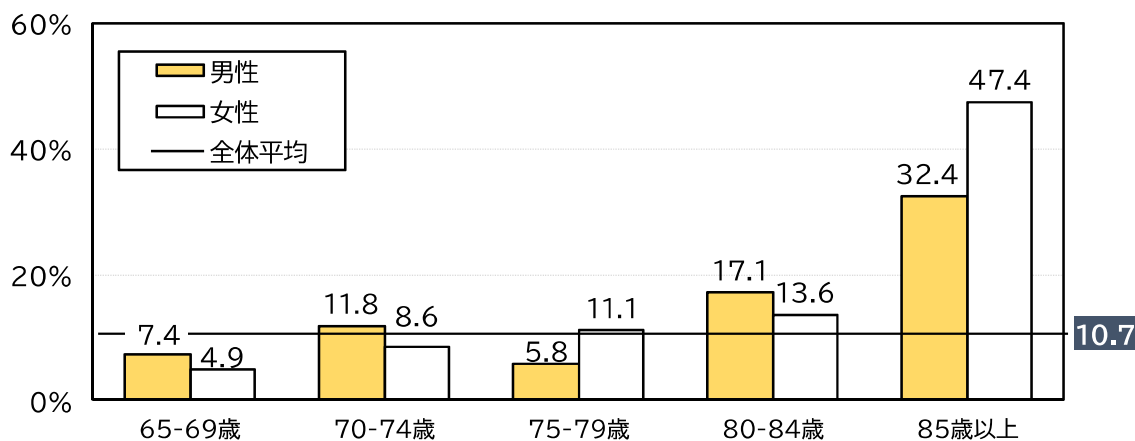


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、10.7%が閉じこもり傾向のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は70～74歳と80歳以上で全体平均を上回っており、特に85歳以上で増加の幅が大きくなっています。85歳以上では32.4%と、80～84歳に比べて15.3ポイント増加しています。女性は75歳以上で全体平均を上回っており、特に85歳以上で増加の幅が大きくなっています。85歳以上では47.4%と80～84歳に比べて33.8ポイント増加しています。

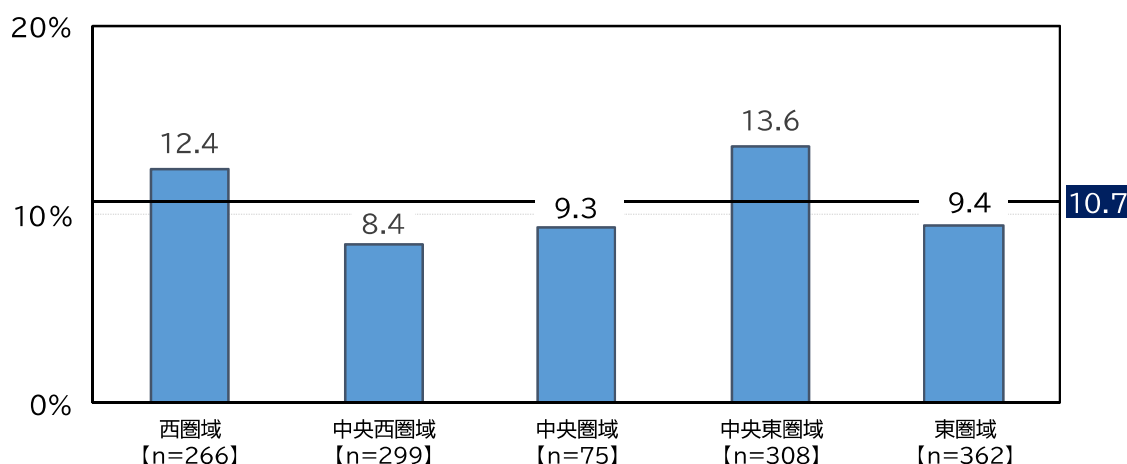
【閉じこもりリスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	257	245	52	41	37
女性	244	267	63	66	38

圏域別にみると、西圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である10.7%を超えています。最も高い圏域は中央東圏域で13.6%、最も低い圏域は中央西圏域で8.4%となっており、5.2ポイントの差があります。

【閉じこもりリスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数

## ③転倒リスク

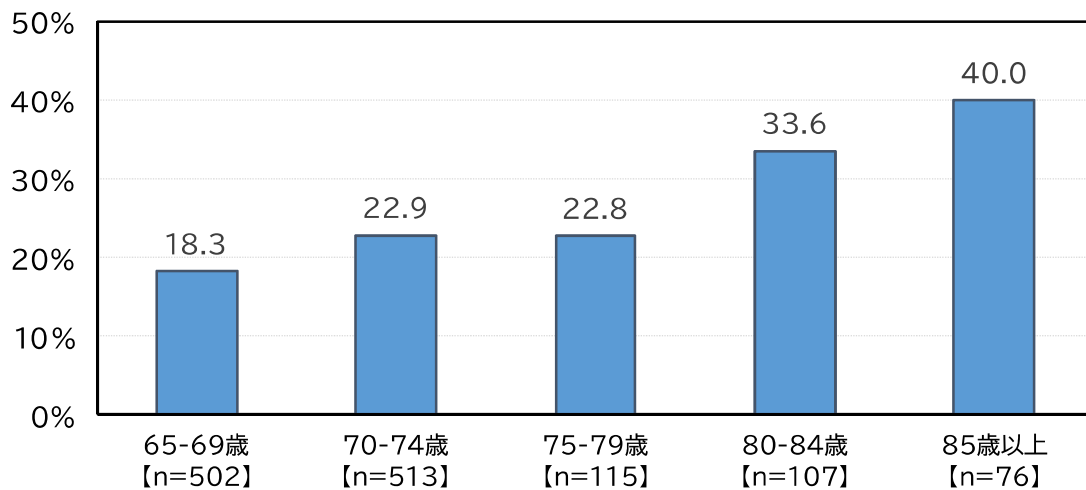
調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を転倒リスクの該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく転倒リスクの評価結果をみると、80歳以上でリスク該当者の割合が増加しています。

【転倒リスク該当者の割合：年齢階層別】

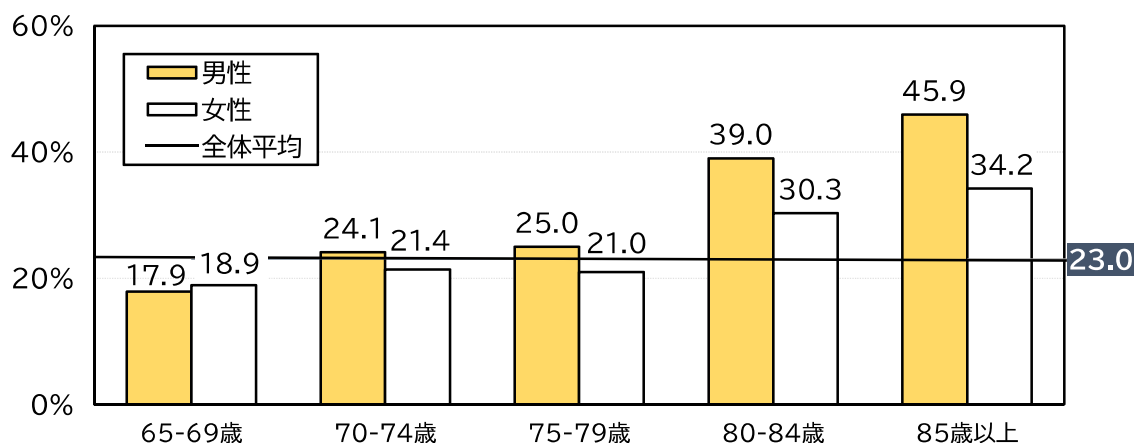


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、23.0%が転倒リスクの該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は70歳以上で全体平均を上回っており、特に80歳以上で増加の幅が大きくなっています。80～84歳では39.0%と、75～79歳に比べて14.0ポイント増加しています。女性は80歳以上で全体平均を上回っており、80～84歳で30.3%と、75～79歳に比べて9.3ポイント増加しています。

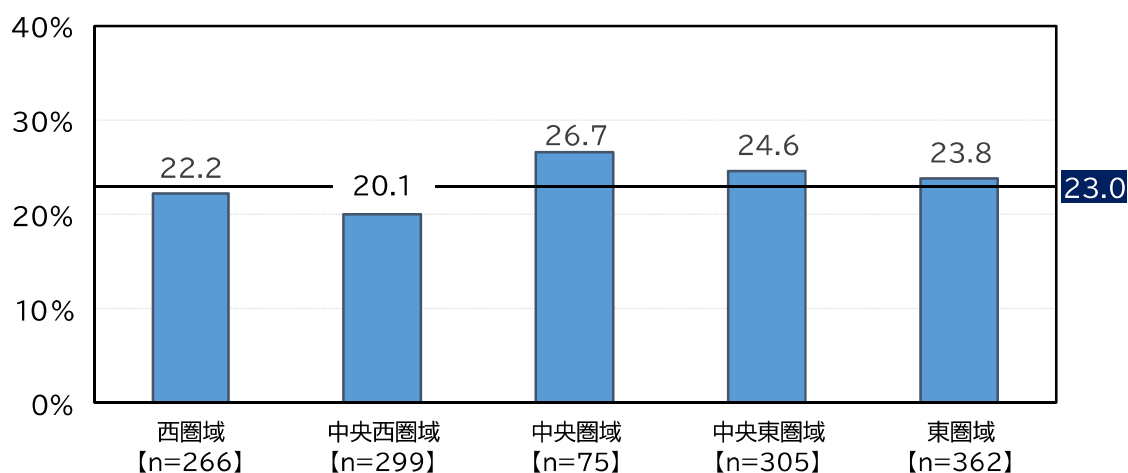
【転倒リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	257	245	52	41	37
女性	244	266	62	66	38

圏域別にみると、中央圏域、中央東圏域、東圏域で該当者の割合が全体平均である23.0%を超えています。最も高い圏域は中央圏域で26.7%、最も低い圏域は中央西圏域で20.1%となっており、6.6ポイントの差があります。

【転倒リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数



## ④低栄養傾向

調査票の以下の設問を抽出し、2項目のすべてに該当する人を低栄養傾向のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

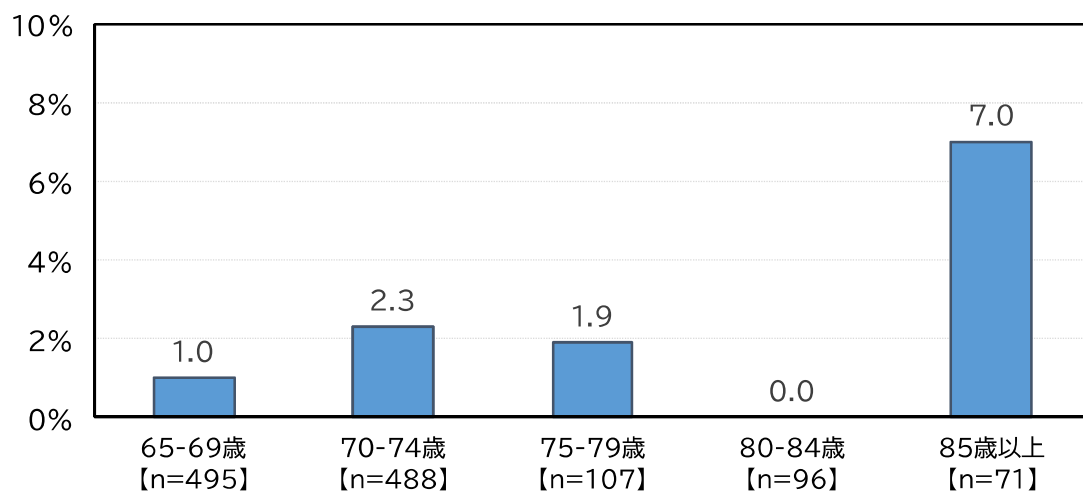
問番号	設問	該当する選択肢
問 18	身長・体重をご記入ください。	BMI※18.5未満
問 23	この6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

※BMIの数值は、

体重(kg) ÷ {身長(m) × 身長(m)} を計算して算出します。

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく低栄養傾向の評価結果をみると、85歳以上で7.0%と最も高くなっています。

【低栄養リスク該当者の割合：年齢階層別】

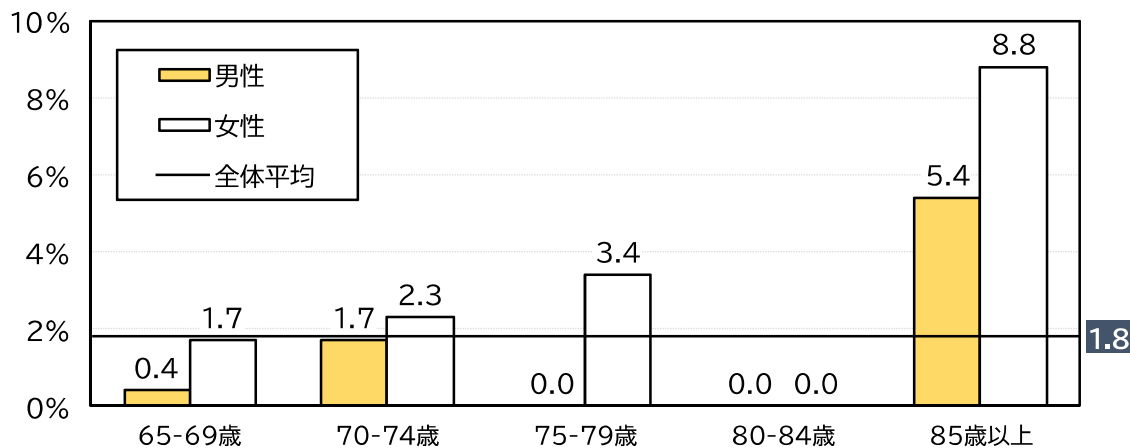


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、1.8%が低栄養傾向のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は85歳以上で全体平均を上回っており、女性は70～79歳と85歳以上で全体平均を上回っています。

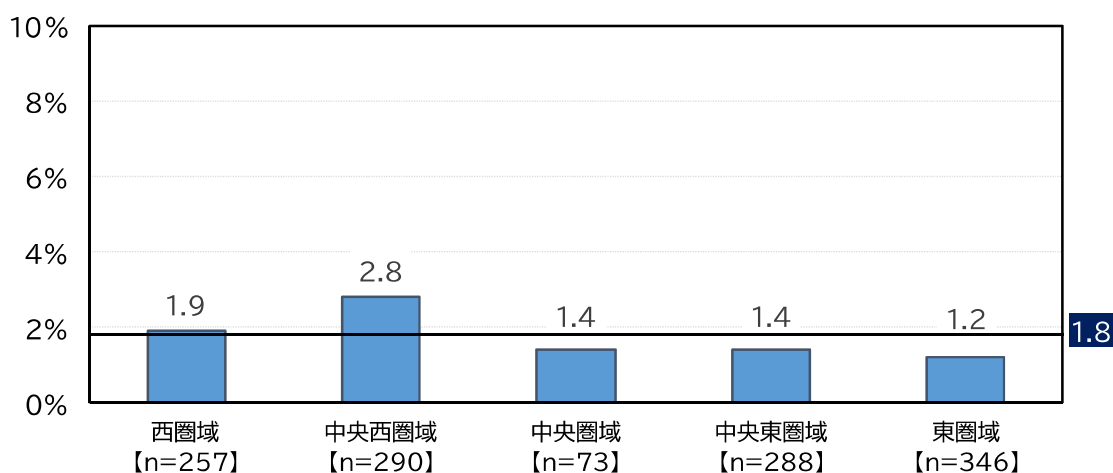
【低栄養リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	252	229	48	38	37
女性	242	258	59	58	34

圏域別にみると、西圏域と中央西圏域で該当者の割合が全体平均である1.8%を超えています。最も高い圏域は中央西圏域で2.8%、最も低い圏域は東圏域で1.2%となっており、1.6ポイントの差があります。

【低栄養リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数

## ⑤口腔機能の低下

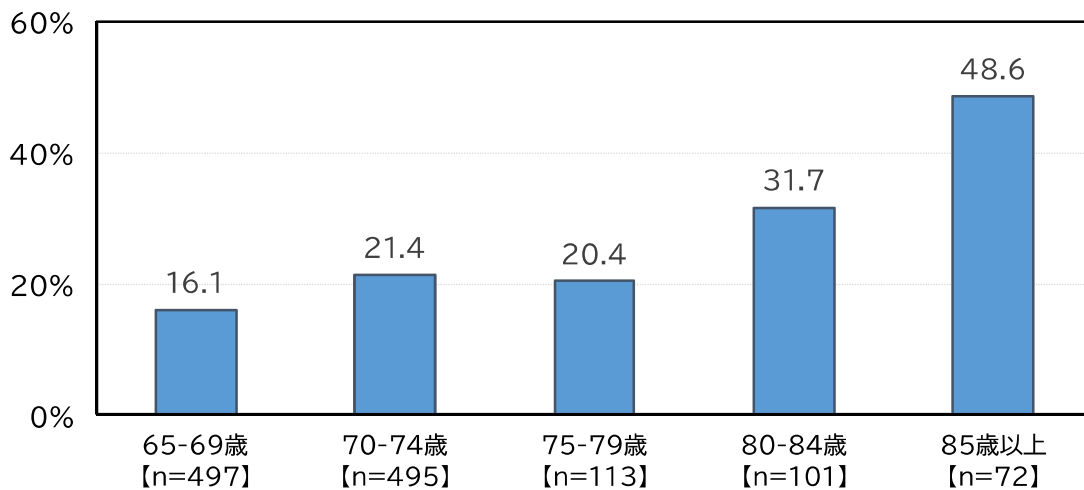
調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を口腔機能低下のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 19	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問 20	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問 21	口の渴きが気になりますか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく口腔機能低下リスクの評価結果をみると、80歳以上はリスク該当者の割合が増加しています。特に85歳以上で48.6%と、80～84歳に比べて16.9ポイント増加しています。

【口腔機能低下リスク該当者の割合：年齢階層別】

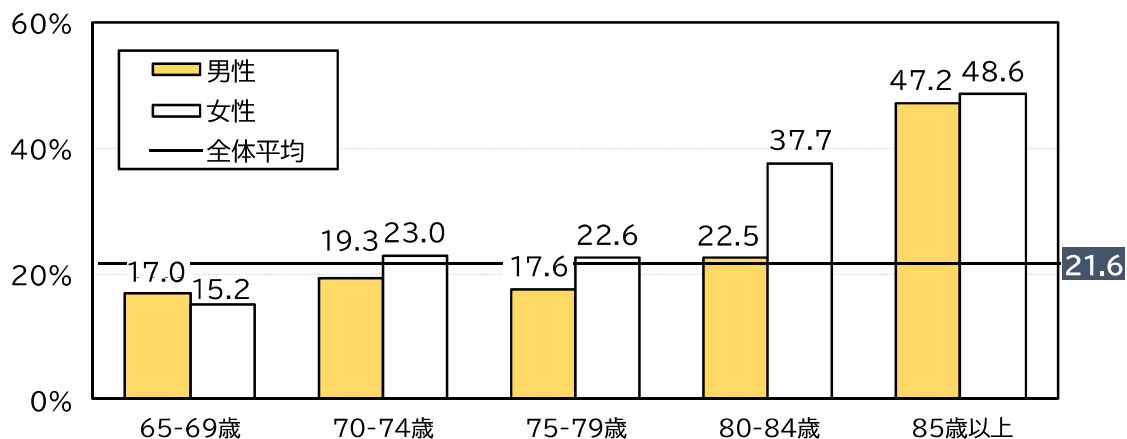


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、21.6%が口腔機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は80歳以上で全体平均を上回っており、85歳以上で47.2%と、80～84歳に比べて24.7ポイント増加しています。女性は70歳以上で全体平均を上回っており、80～84歳で37.7%と、75～79歳に比べて15.1ポイント増加しています。

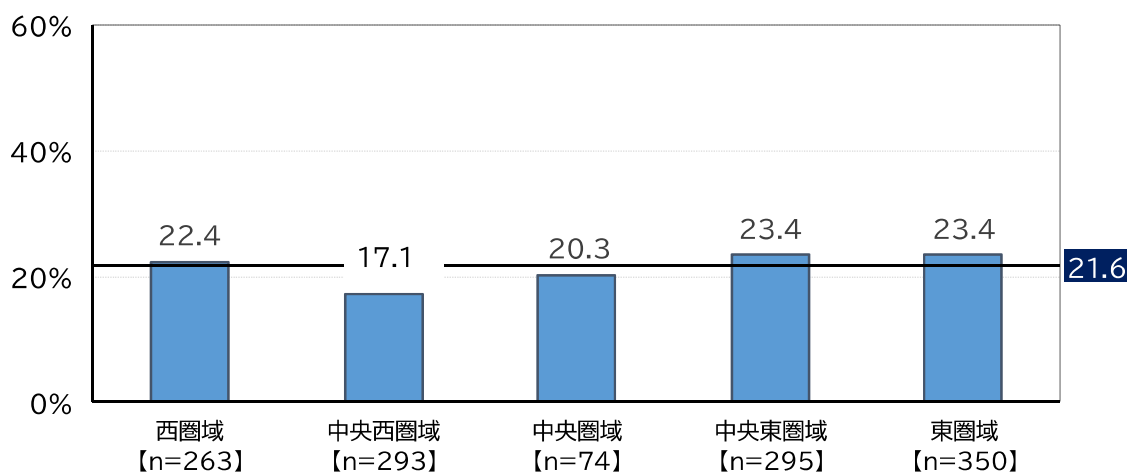
【口腔機能低下リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	253	233	51	40	36
女性	243	261	62	61	35

圏域別にみると、西圏域、中央東圏域、東圏域で該当者の割合が全体平均である21.6%を超えています。最も高い圏域は中央東圏域と東圏域で23.4%、最も低い圏域は中央西圏域で17.1%となっており、6.3ポイントの差があります。

【口腔機能低下リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数

## ⑥認知機能の低下

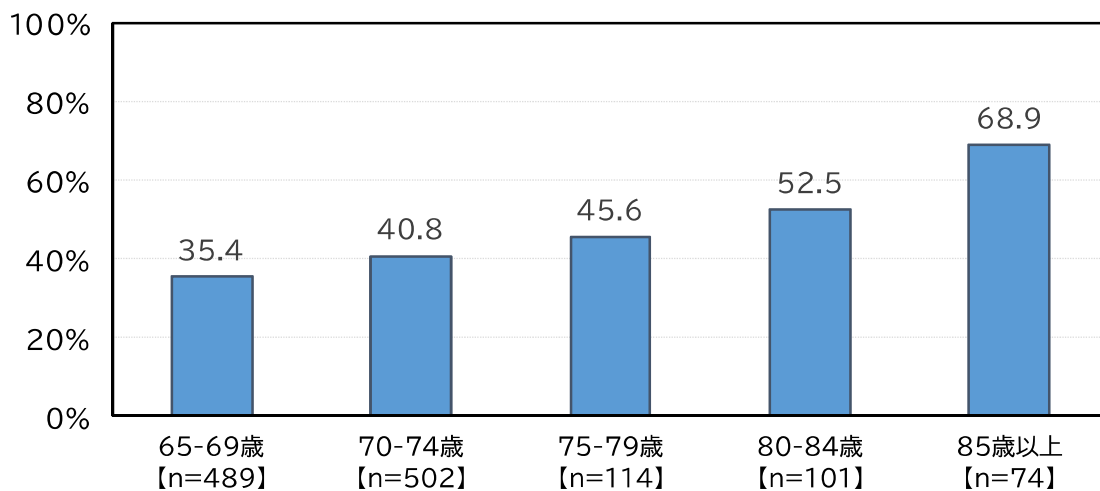
調査票の以下の設問を抽出し、以下の項目に該当する人を認知機能低下のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 25	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づく認知機能低下リスクの評価結果をみると、年齢階層が高くなるにつれてリスク該当者の割合が増加しており、80歳以上では50%を超えています。

【認知機能低下リスク該当者の割合：年齢階層別】

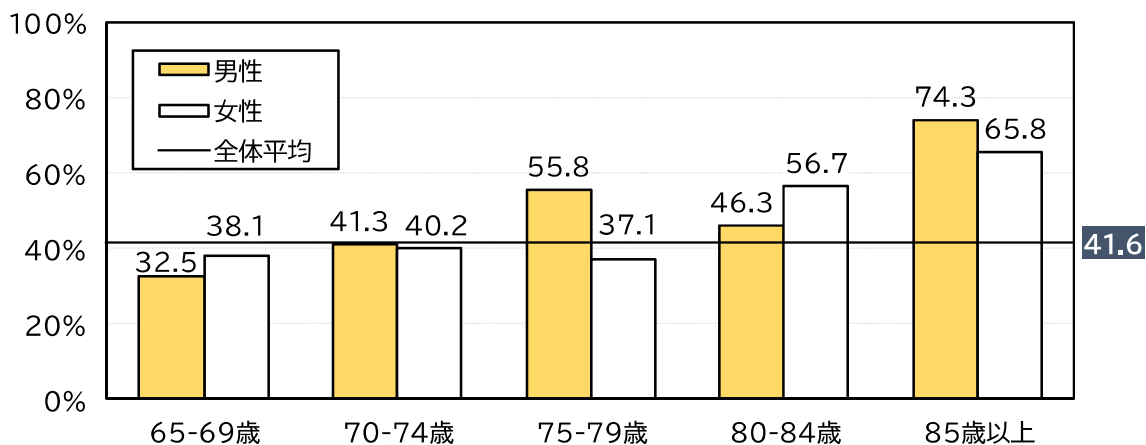


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、41.6%が認知機能低下のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は75歳以上で全体平均を上回っており、85歳以上で74.3%と、80～84歳に比べて28.0ポイント増加しています。女性は80歳以上で全体平均を上回っており、80～84歳で56.7%と、75～79歳に比べて19.6ポイント増加しています。

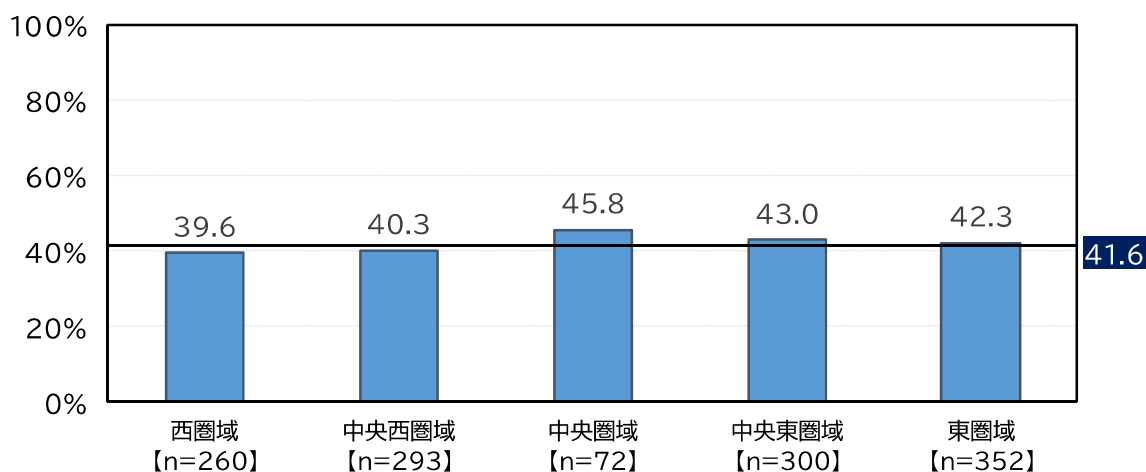
【認知機能低下リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	252	240	52	41	35
女性	236	261	62	60	38

圏域別にみると、中央圏域、中央東圏域、東圏域で該当者の割合が全体平均である41.6%を超えています。最も高い圏域は中央圏域で45.8%、最も低い圏域は西圏域で39.6%となっており、6.2ポイントの差があります。

【認知機能低下リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数

## ⑦うつ傾向

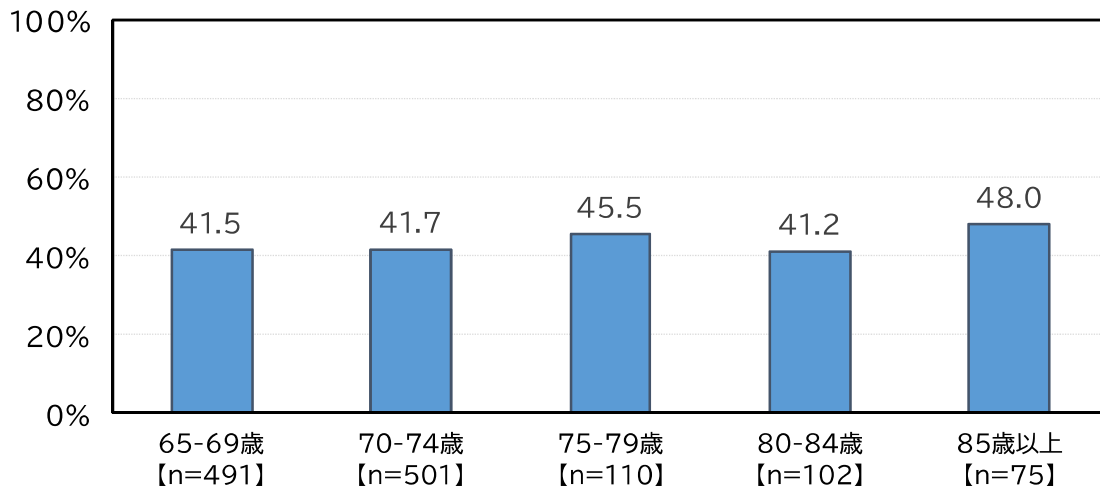
調査票の以下の設問を抽出し、2項目のうち1項目以上に該当する人をうつ傾向のリスク該当者と判定しました。

## 【判定設問】

問番号	設問	該当する選択肢
問 43	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	1. はい
問 44	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	1. はい

厚生労働省が示している「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査実施の手引き」に基づくうつ傾向リスクの評価結果をみると、85歳以上で48.0%と最も高くなっています。

【うつ傾向リスク該当者の割合：年齢階層別】

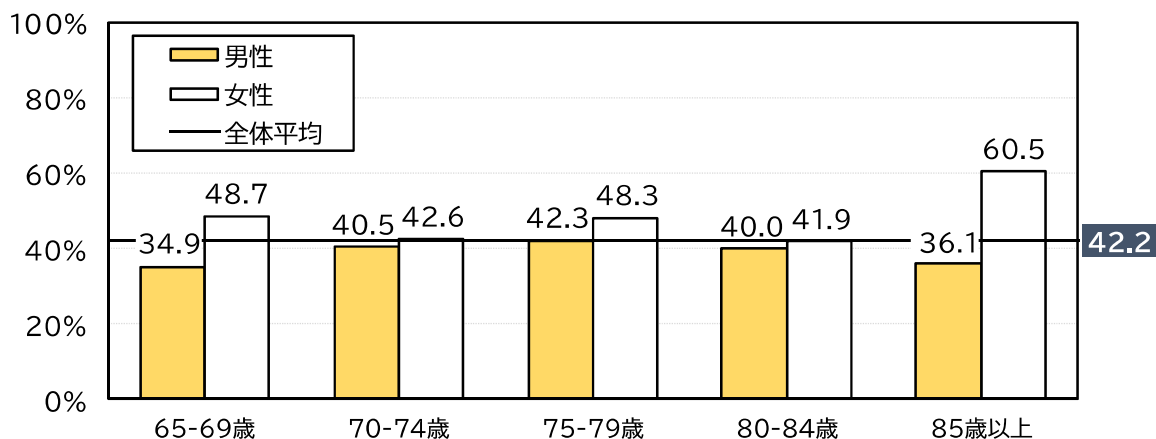


※各年齢階層の【 】内は有効回答数

全体平均では、42.2%がうつ傾向のリスク該当者となっています。

性別・年齢階級別にみると、男性は75～79歳のみ全体平均を上回っています。女性は80～84歳を除いて全体平均を上回っています。85歳以上で60.5%と最も高くなっており、80～84歳に比べて18.6ポイント増加しています。

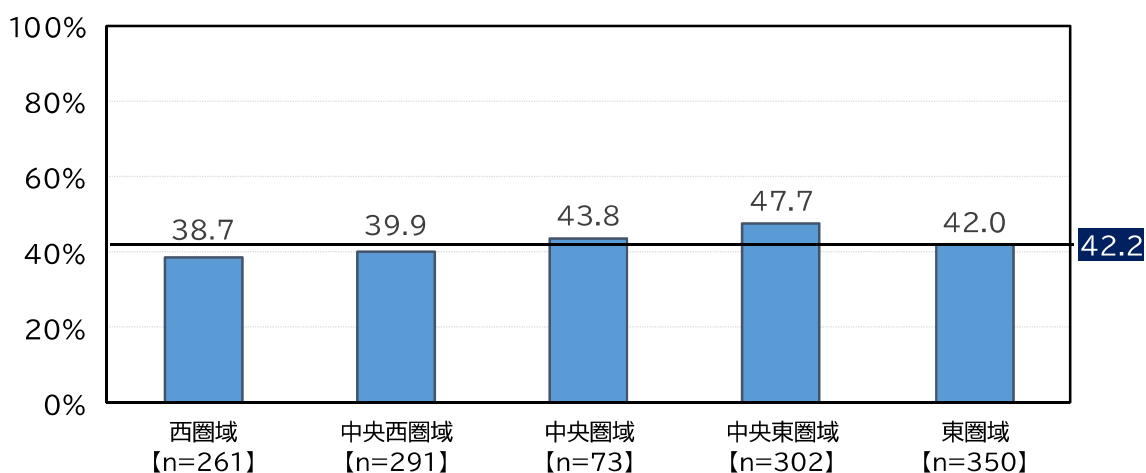
【うつ傾向リスク該当者の割合：性別・年齢階層別】



有効回答数	65-69歳	70-74歳	75-79歳	80-84歳	85歳以上
男性	252	237	52	40	36
女性	238	263	58	62	38

圏域別にみると、中央圏域と中央東圏域で該当者の割合が全体平均である42.2%を超えています。最も高い圏域は中央東圏域で47.7%、最も低い圏域は西圏域で38.7%となっており、9.0ポイントの差があります。

【うつ傾向リスク該当者の割合：圏域別】



※各圏域の【 】内は有効回答数